

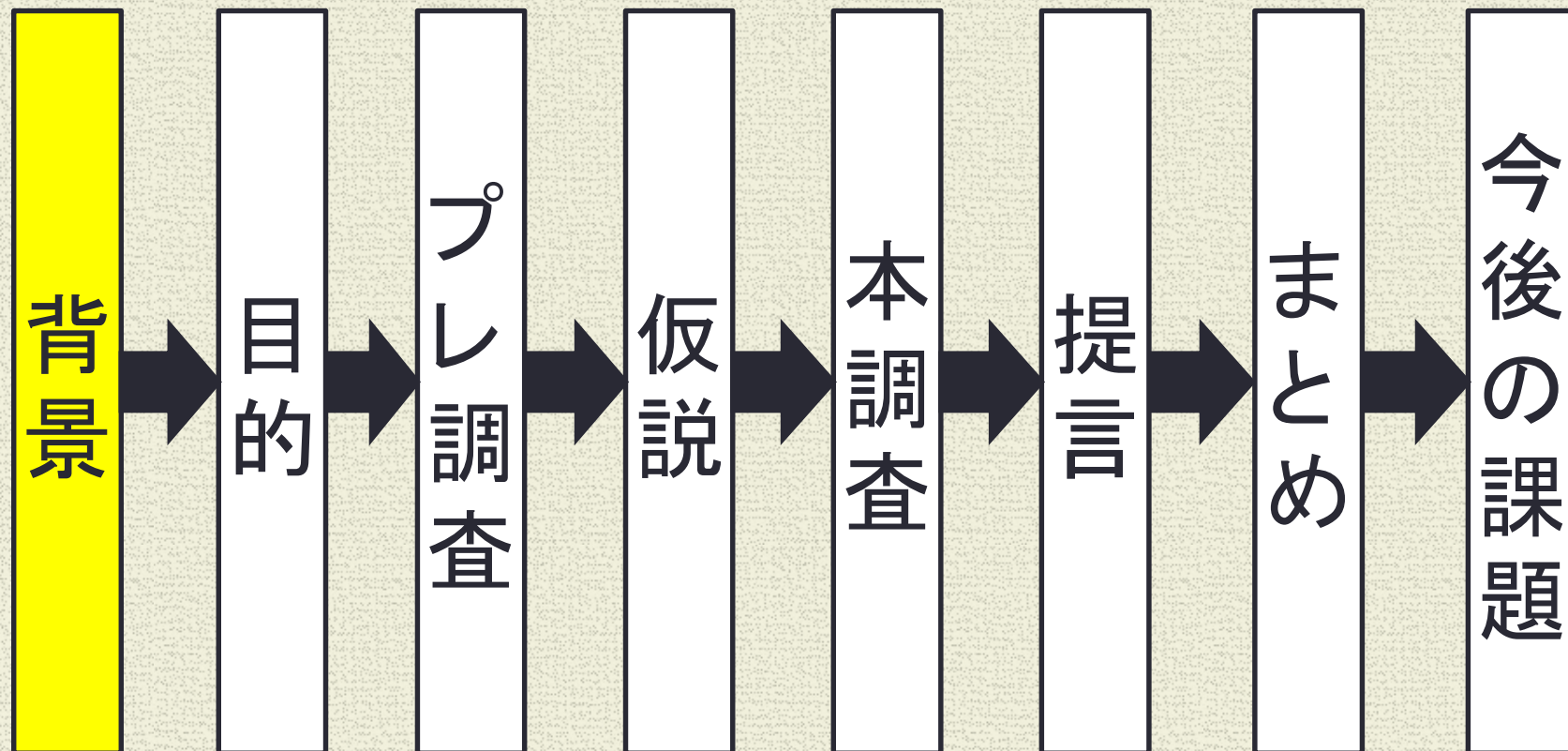
プロフェッショナル

チャリ通の流儀

～めざせ グッドペDESTリアン～

- ・ 小林正人(班長) 浅野翔 (書記)
- ・ 岡田剛治(副班長) 高根茉央(書記)
- ・ 石渡和哉(渉外) 田宮圭祐(DB)
- ・ 徳谷祐輝(渉外) 木村航太(印刷)

担当教員: 糸井川栄一
TA: 齋藤貴史



大学内を便利に移動できるよう、
ペDESTリアンデッキが整備されている

↓
大多数の学生が
自転車を用いて移動する



1学付近...撮影:班員、5/15一限終了時

↓
自転車渋滞

自転車事故

など、
リスクの発生

自転車渋滞

ペデ授業間移動の時間の
自転車交通が集中し、発生



5C棟付近...撮影:班員、5/15一限終了時

→利用者にとってストレス
→授業に間に合わない...

自転車事故

ペデの構造上問題や、ペデ利用者の利用態度、マナーなど様々な原因により引き起こされる

- ・自転車単独
- ・自転車 対 自転車
- ・人 対 自転車



→安心してペデを利用できない

自転車渋滞

自転車事故

による不利益まとめ

渋滞

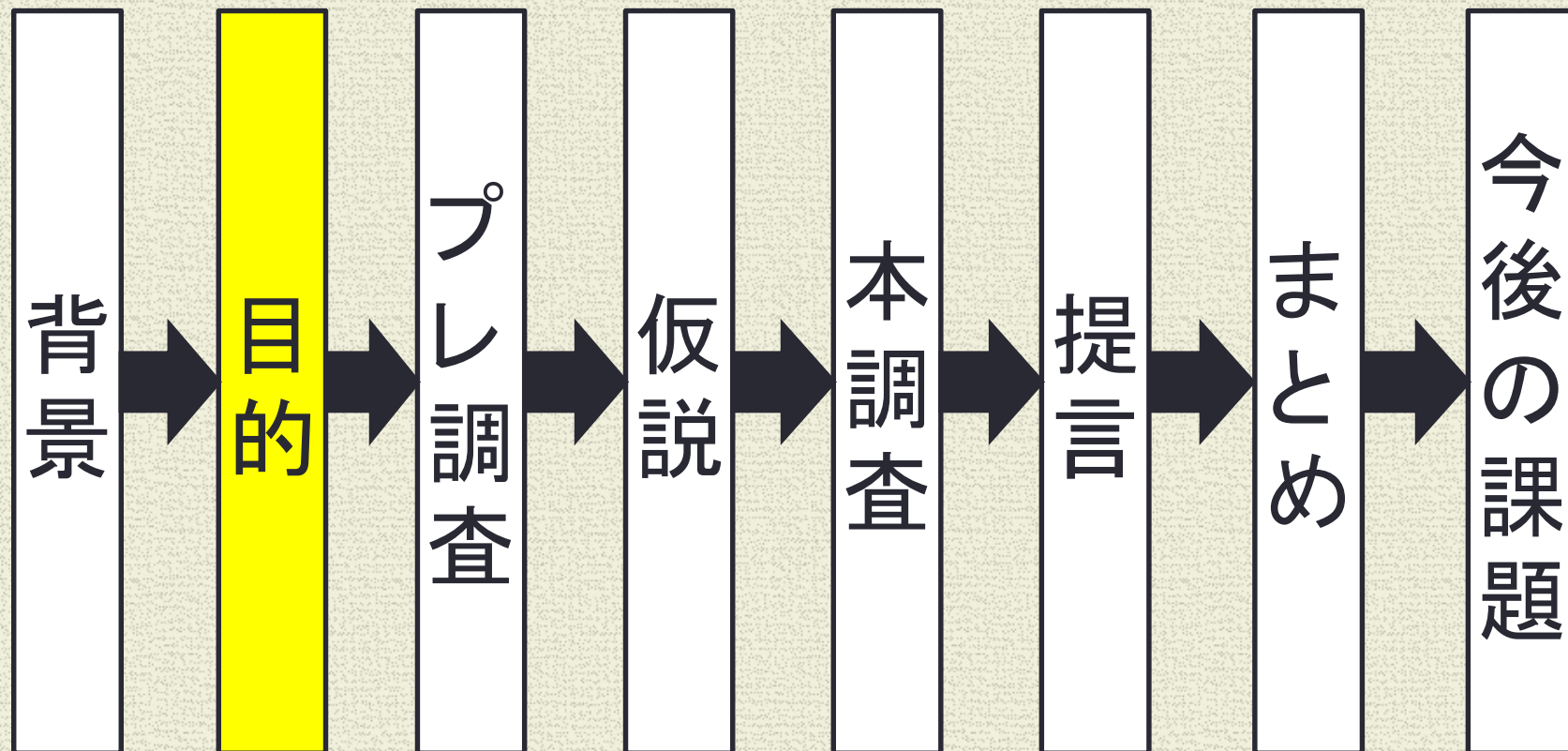
授業に遅刻しそうになる

イライラの原因に

事故

ケガや自転車の故障

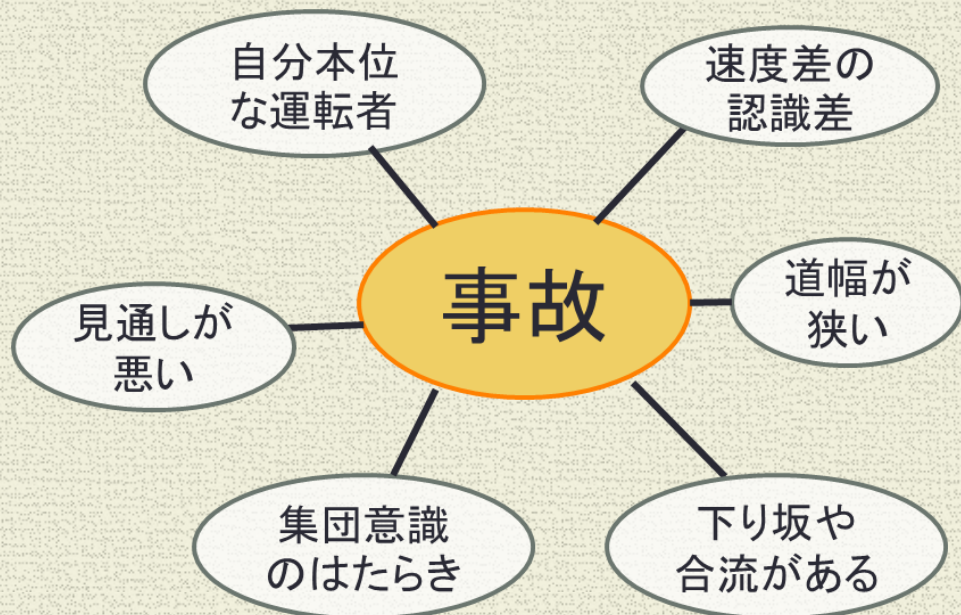
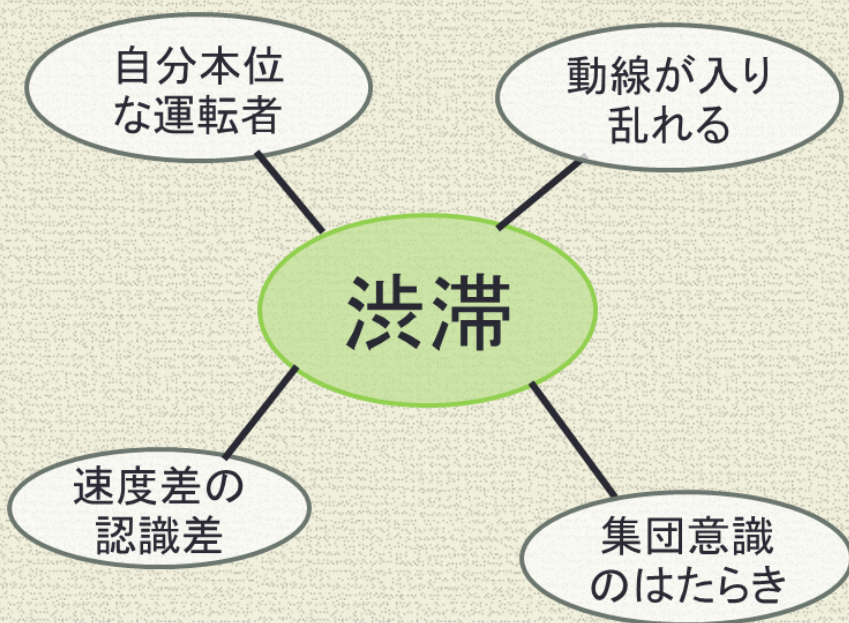
不安意識の増加



自転車渋滞
自転車事故



それぞれの問題について、
様々な原因が背景にある



2つの問題を取り巻く原因を個別に取り除くことはできないか

自転車渋滞

自転車事故

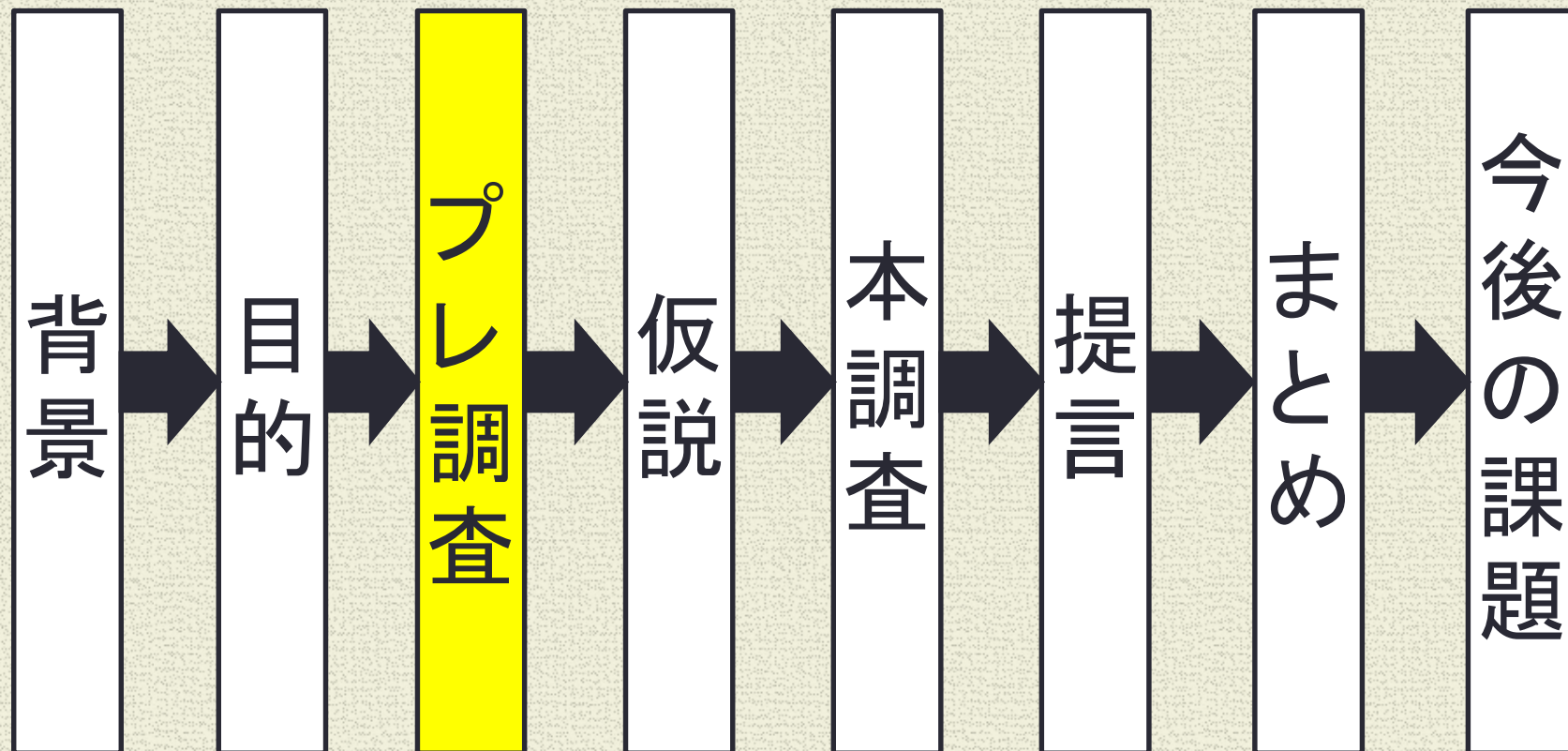
それぞれの原因について、個別の施策により
取り除く

自転車渋滞

自転車事故

の減少

安全安心なペDESTリアンの実現



学生生活課ヒアリング

生活課担当：菊池文武様
5月9日（火）13:45～

Q. 学内の事故渋滞について、学校側の認知度は？

A. 発生している、という事実は把握しているものの、
「場所」「件数」といった詳細な情報は認知できていない

→ 問題が表面化されていない

→ 被害が顕著な箇所を調査する必要がある

学生生活課ヒアリング

生活課担当：菊池文武様
5月9日（火）13:45～

Q. 学内の自転車問題について、学校が行っている対策は？

A. 【事故問題】
フレセミを利用した注意喚起、定期的な交通安全講習会

- 一年生にしか周知できず **忘れられてしまう**
- 自由参加の講習会は **出席率が低い**

A. 【渋滞問題】
職員による声かけ、駐輪場整理

- 常に職員が交通整備することは不可能であり、
持続性のある対策が困難

施設部ヒアリング

生活課担当：鷺森航太様
5月10日（水）16:00～

Q. 大学マスタープランにおける自転車交通の位置づけ

A. ペデは歩行者優先道路という位置づけであり、自転車はループを走る前提となっている

→実際は、歩行者、自転車ともにペデに集中している

Q. ある程度予算を必要とする施策の実現可能性

A. 大学全体の慢性的な予算不足により、ハード面の施策は実現可能性が低い

→予算制約内で実現できる、低コストな施策を提案する必要がある

学生ヒアリング調査

対象者	筑波大学生45名(男27名、女18名)
日時	5月8日 14:00～ 5月9日 13:45～
目的	事故・渋滞の 実態を把握 する
質問項目	<ul style="list-style-type: none">・直近1年の事故・渋滞経験・個人での事故・渋滞対策の実施・経験した事故・渋滞場所、原因、時間・大学側の事故対策の認知の有無

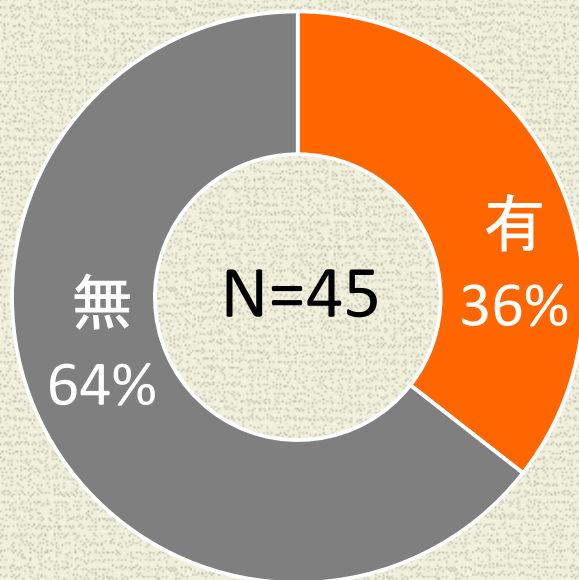


5月8日撮影

学生ヒアリングの様子 班員撮影

学生ヒアリング調査

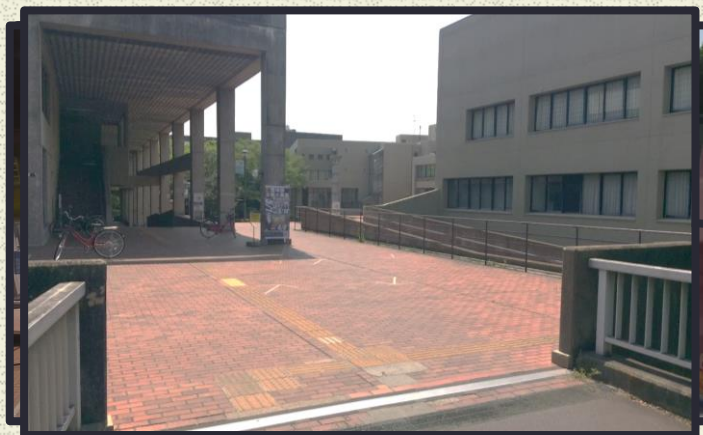
Q ここ1年で事故やヒヤリハット*に遭ったことがあるか
*ヒヤリハット：実際に事故していなくても、場合によっては
事故に直結したかもしれないエピソードのこと。



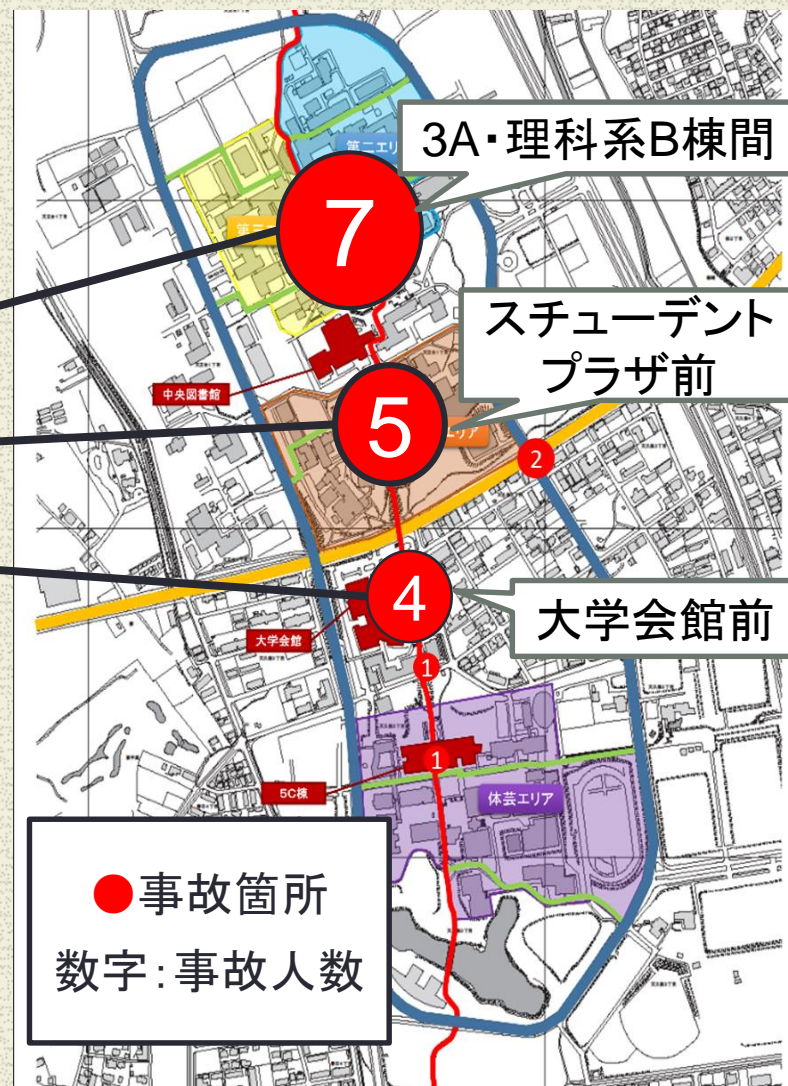
多くの学生が事故のリスクに、
または実際の事故に苛まれている

学生ヒアリング調査

Q 実際に事故した場所を、
地図上にプロットして貰う



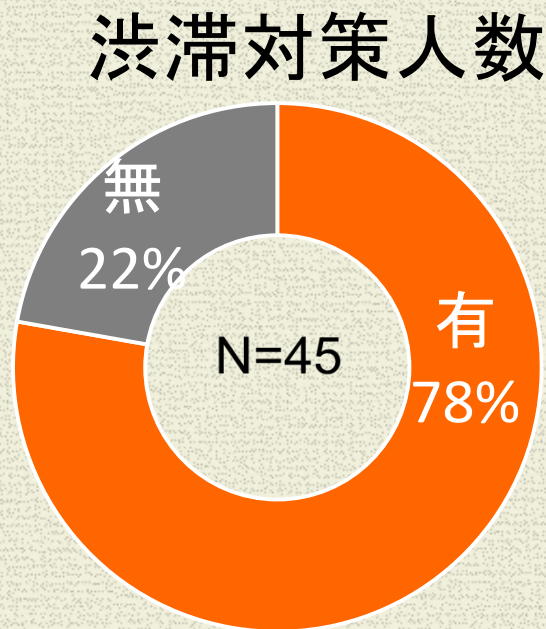
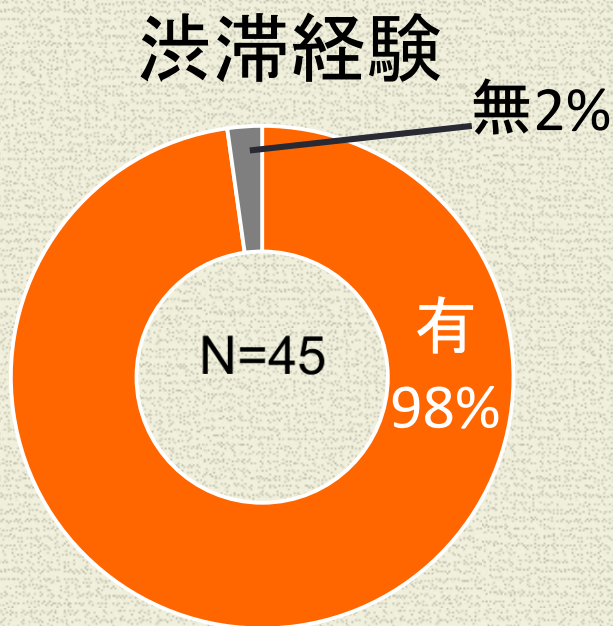
大学理系B棟前
学生プラザ前: 5人



事故のリスクが高い箇所を把握

学生ヒアリング調査

Q ここ1年で渋滞を経験したか？
個人での渋滞対策を行っているか？



個人的な渋滞対策だけでは不十分なので、
学校主体の全体的な対策が必要なのでは

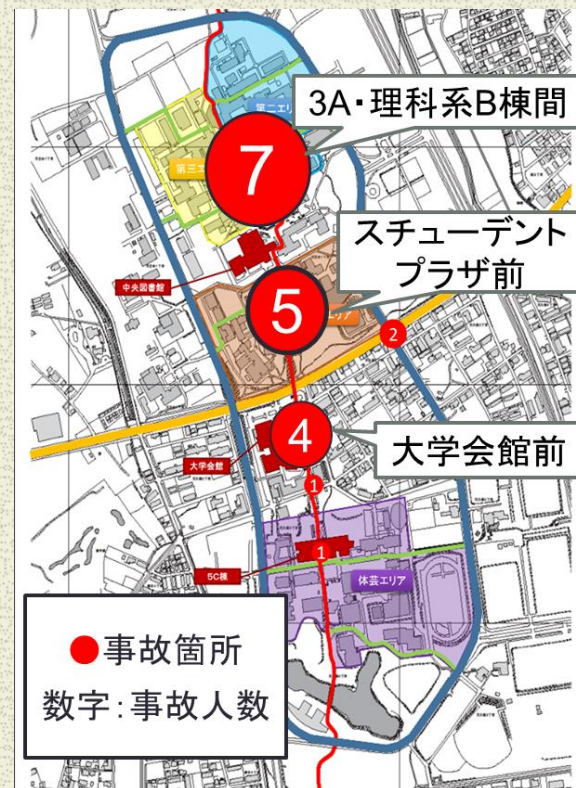
プレ調査まとめ

被害が顕著な箇所を調査する必要がある



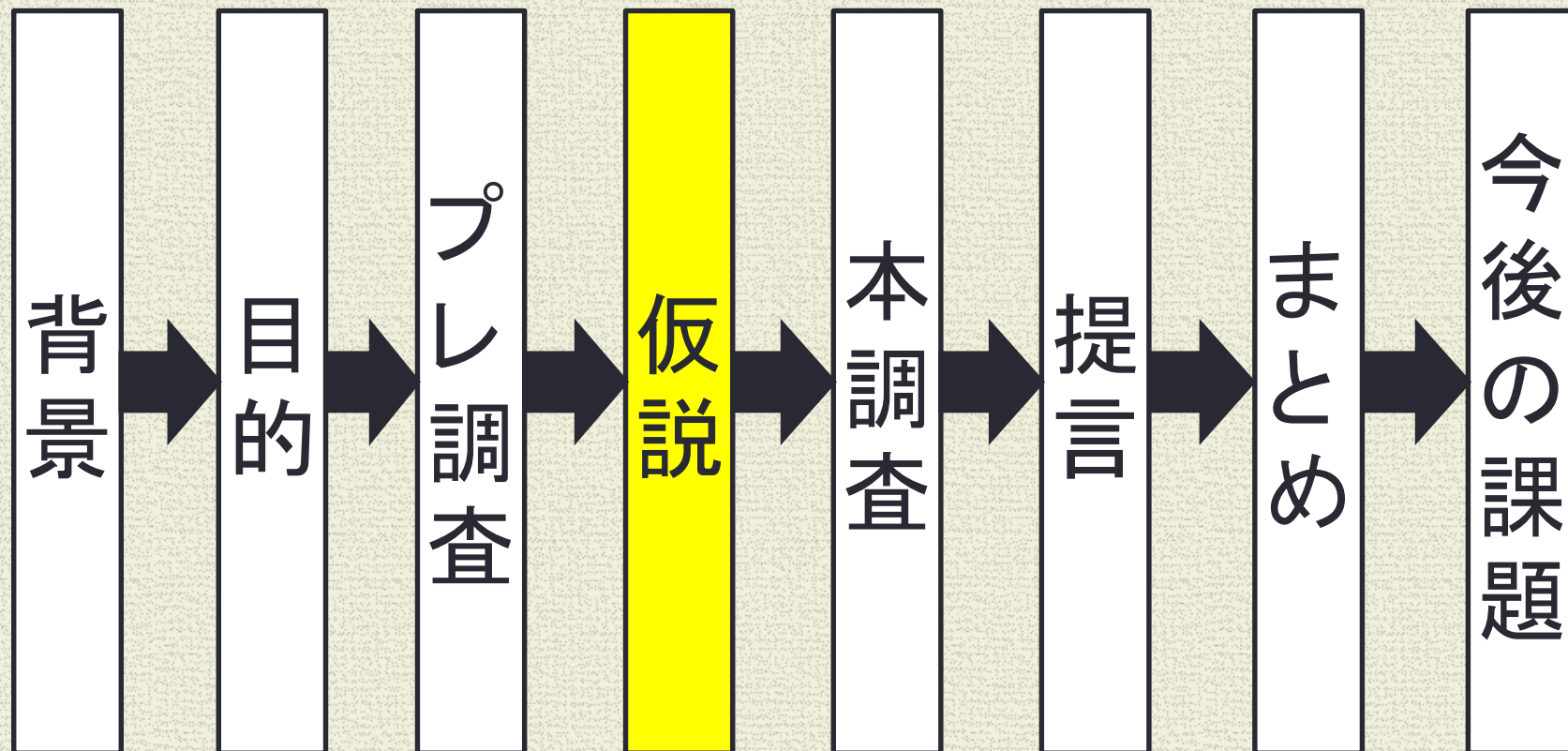
事故リスクの高い箇所を調査

3A・理科系B棟間
スチューデントプラザ前
大学会館前など



■ プレ調査まとめ

- ▶ 持続性のある施策を考案する必要がある
- ▶ 自転車をループに流すことができれば理想的
- ▶ 予算制約内で実現できる、
低コストな施策を提案する必要がある
- ▶ 学校主体の全体的な対策が必要



迂回路

ペDESTリアンデッキ以外の登下校および、
授業間移動で利用できる道のこと

ペデは歩行者優先道路という位置づけであり、
自転車はループを走る前提となっている

施設部ヒアリングより

➡ **ペデに自転車が居る**という現状が悪いのではないか

ペデに代わる**迂回路へ自転車を誘導**し、
ペデの自転車交通量を減らす

ペデの自転車交通量が減ると...

自転車渋滞 → 緩和、解消が期待できる

自転車事故 → ?

!
ペデの自転車交通量が減っても、そのおかげで
自転車事故のリスクを抑えられるとは限らない！

スムーズに通行できるようになったペデ
で、スピードを出しすぎる

相対的に歩行者の比率が上がり、
人対自転車の事故リスク
が高まる

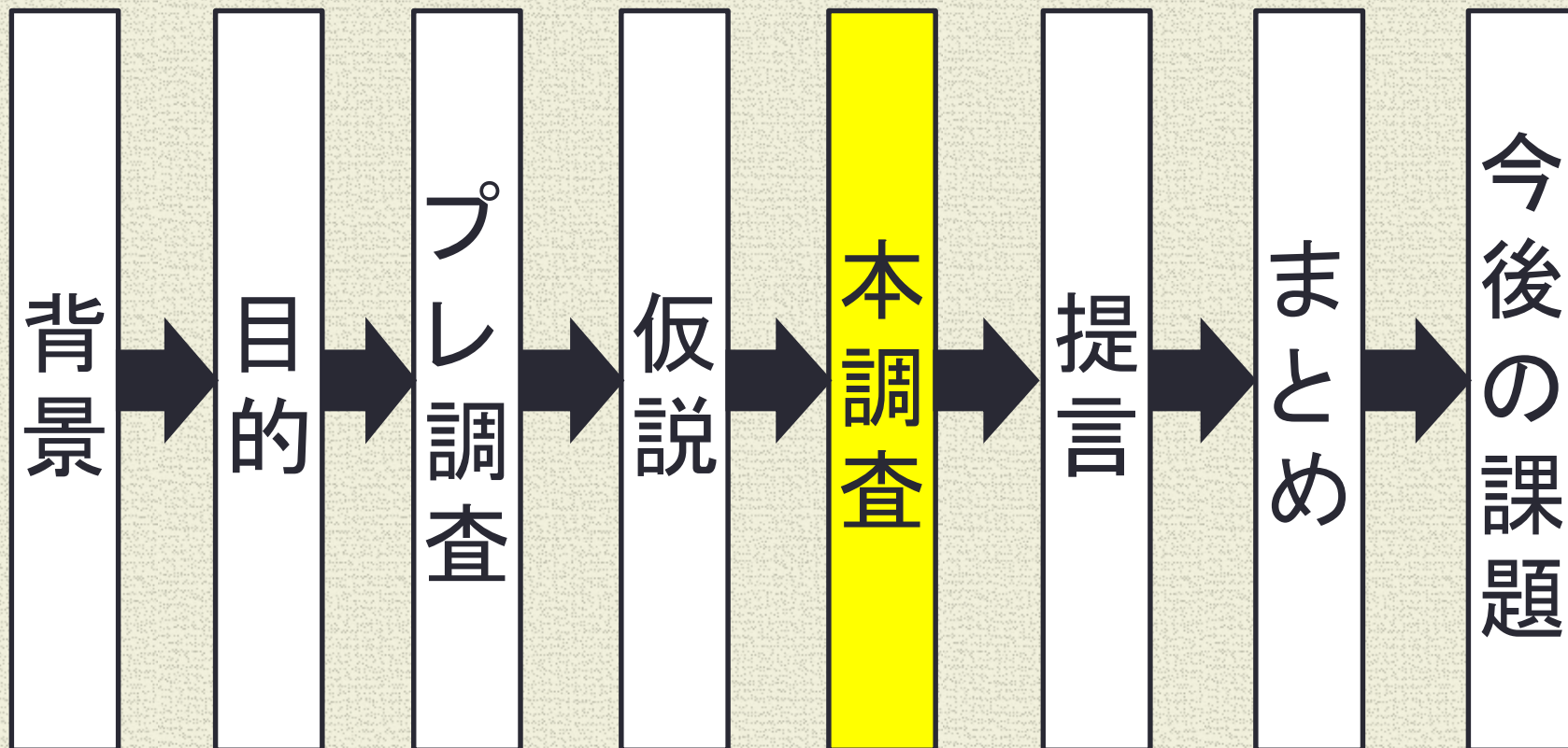
自転車事故対策について、渋滞対策とは別の仮説を立てる

仮説 1

迂回路を周知することにより、迂回路の利用率が増加し、**ペデの交通量が減少**する。

仮説 2

事故多発箇所での事故の注意を行うことにより、**ペデ利用者の事故に対する注意力が増加**する。



自転車渋滞が多発



迂回看板



アンケート調査・交通量調査



ポスターと
チラシ



自転車事故が多発



事故看板



アンケート調査



分析、考察、提言へ

◎現状にマッチした施策の考案

求められている施策の条件(プレ調査より)

1. 持続的な効果が期待できる
2. 予算制約内で実現可能性が高い

→ **看板による迂回路提示**を考案

◎デザインの決定

- ・今回の実験と親和性
- ・一般認知度

→高速道路の標識を模したデザインを採用



◎設置箇所の決定

- ①地図に動線を書き込みルート作成。
その際、過去に施設部が作成した
推奨ルートなどを参考にして作成した。
- ②実際に自転車で考案ルートを走り、
問題点や実現可能性について検討した。

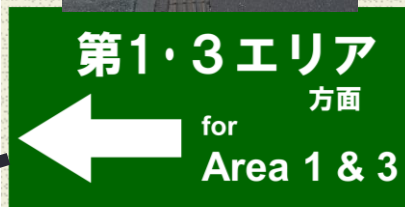
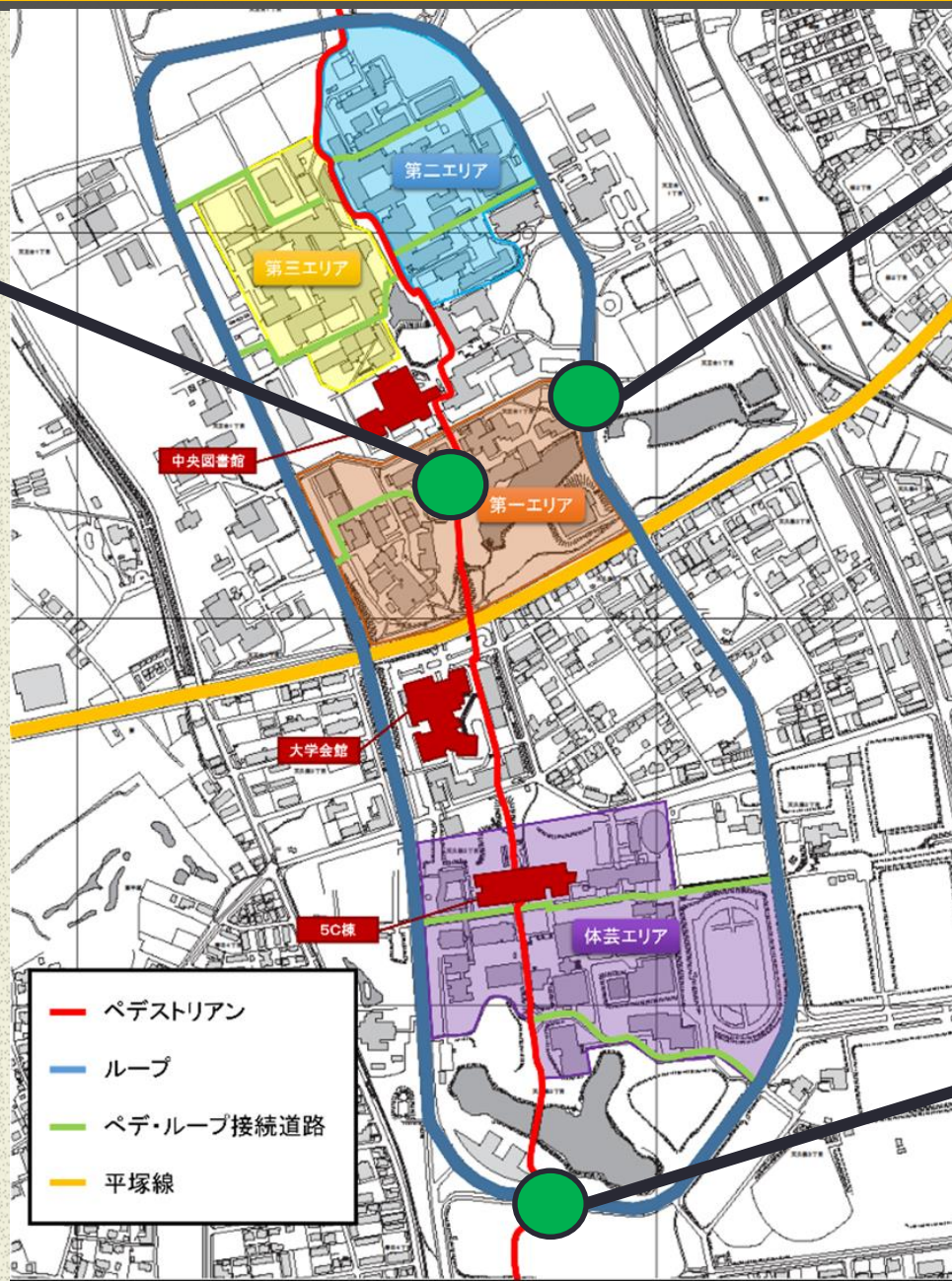


看板設置日程

6月5日(月)～6月9日(金)

目的

ペDESTリアン内を走る自転車数を減少させるために、ループに誘導する



【迂回ルート①“D1”】

看板設置により、

既存ルート(ペデに流れるルート)

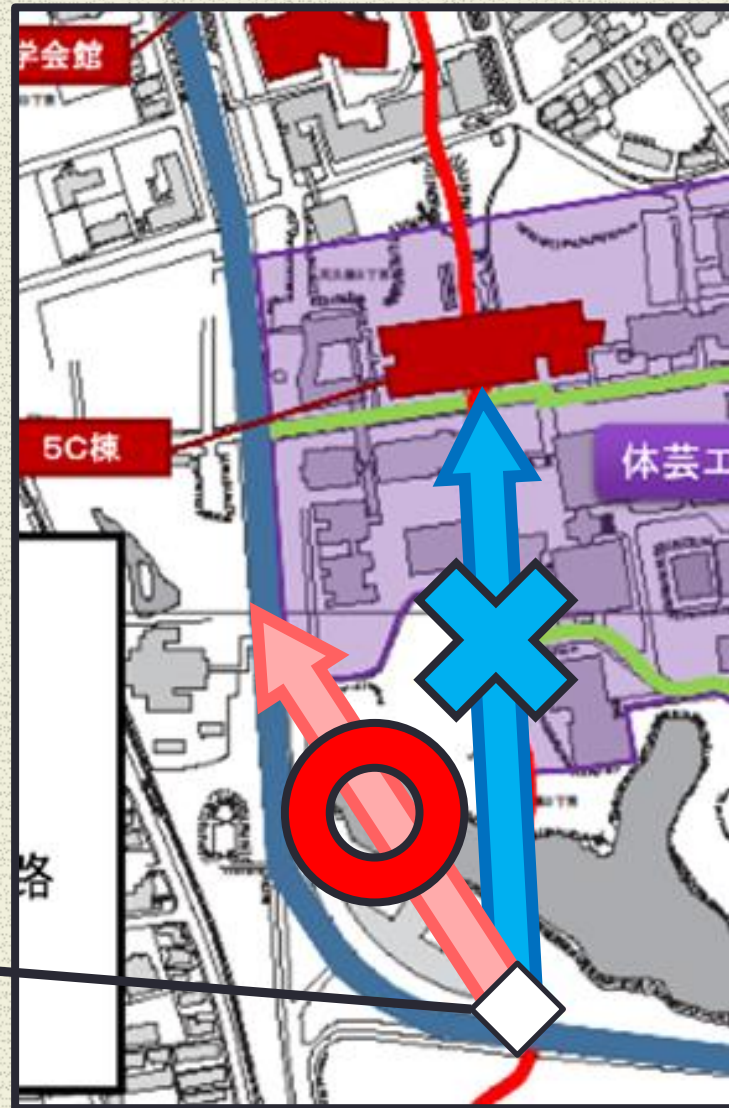
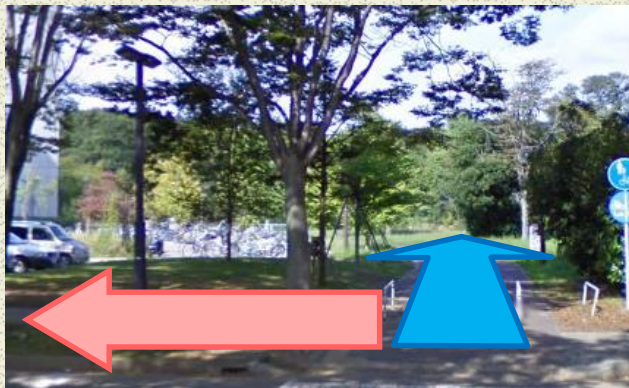
(平砂宿舎→体芸エリア)

から

新規ルート(ペデを避けるルート)

(総合研究棟に沿ったループ道路)

へ迂回を促す。



◇: 迂回看板設置箇所

【迂回ルート②“D2”】

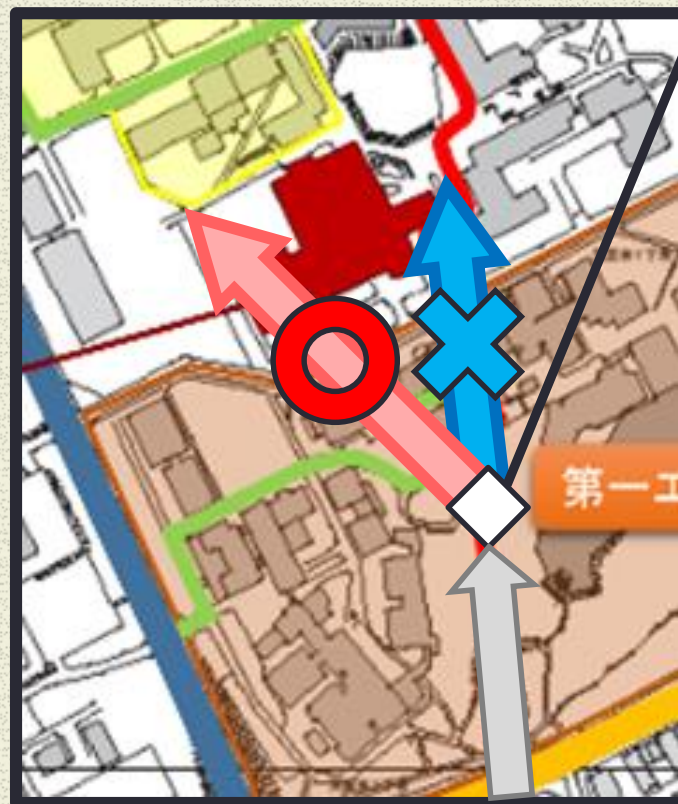
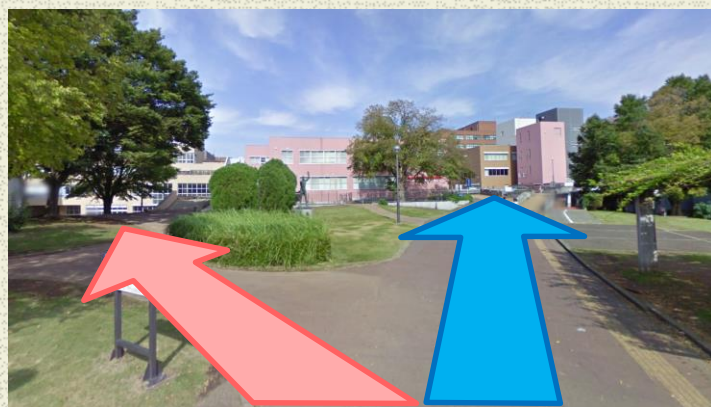
看板設置により、

既存ルート(ペデに流れるルート)
(1学方面)

から

新規ルート(ペデを避けるルート)
(総合研究棟B方面)

へ迂回を促す。



◇: 迂回看板設置箇所

【迂回ルート③“D3,D4”】

看板設置により、

2学方面ルート

と

1学、3学方面ルート

で、動線の棲み分けを促す。



◇: 迂回看板設置箇所



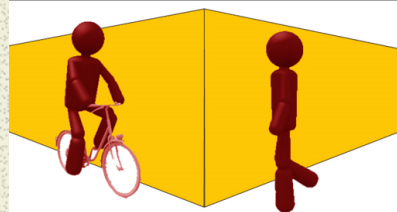
看板設置 日程	6月5日(月)～6月9日(金)
目的	事故に対する注意喚起 速度超過に対する警告

◎設置箇所の決定

- ・プレ調査で報告の多かった箇所を中心に決定。
- ・迂回路誘導看板と同様、班員による
現地検討も実施



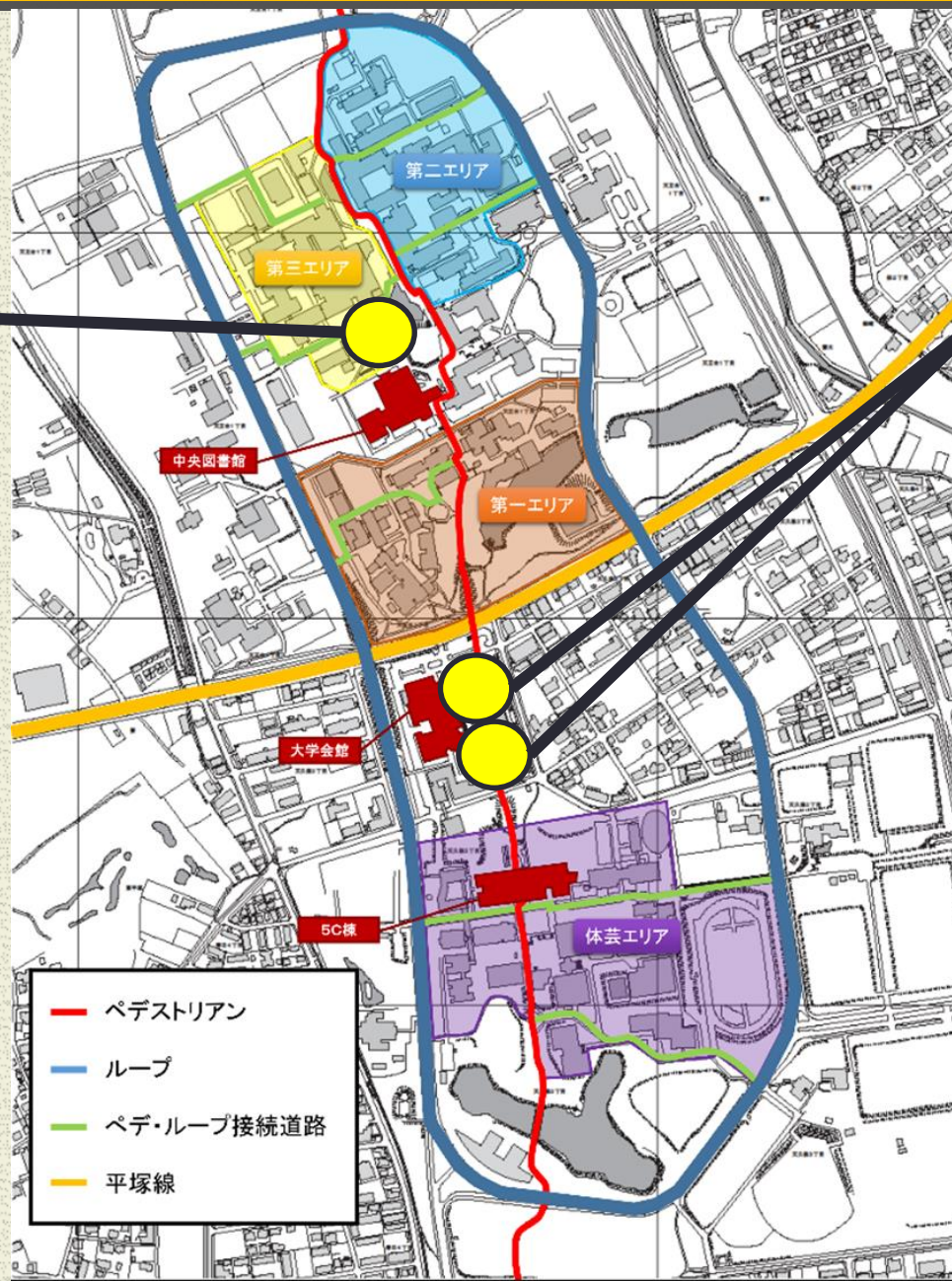
事故多発！
Accident hot spot



交差点注意！
Watch out!

実験中
補助計測装置
既設機

第3エリアの坂下



事故多発！
Accident hot spot



減速せよ！
Slow down!

実験中
補助計測装置
既設機

大学会館坂



ポスター掲示・チラシ配布

看板の存在を認識してもら
うための周知活動もすべき

利用者が看板に従いたくな
る工夫をすべき



ポスターの掲示、チラシ配布を実施

ポスターの掲示

迂回の意義、迂回看板の設置箇所、具体的な迂回ルートなど記載。

【設置箇所】

一学、二学、三学、
体芸の学生掲示板

【設置期間】

6/5(月)～6/12(月)

ペデ自転車渋滞にストップ！迂回経路のご案内

第2エリア for a 2

文化系サークル館前

松美池前交差点

平砂宿舍北

第1-3エリア

第2エリア

第3エリア

第4エリア

第5エリア

第6エリア

第7エリア

第8エリア

第9エリア

第10エリア

第11エリア

第12エリア

第13エリア

第14エリア

第15エリア

第16エリア

第17エリア

第18エリア

第19エリア

第20エリア

第21エリア

第22エリア

第23エリア

第24エリア

第25エリア

第26エリア

第27エリア

第28エリア

第29エリア

第30エリア

第31エリア

第32エリア

第33エリア

第34エリア

第35エリア

第36エリア

第37エリア

第38エリア

第39エリア

第40エリア

第41エリア

第42エリア

第43エリア

第44エリア

第45エリア

第46エリア

第47エリア

第48エリア

第49エリア

第50エリア

第51エリア

第52エリア

第53エリア

第54エリア

第55エリア

第56エリア

第57エリア

第58エリア

第59エリア

第60エリア

第61エリア

第62エリア

第63エリア

第64エリア

第65エリア

第66エリア

第67エリア

第68エリア

第69エリア

第70エリア

第71エリア

第72エリア

第73エリア

第74エリア

第75エリア

第76エリア

第77エリア

第78エリア

第79エリア

第80エリア

第81エリア

第82エリア

第83エリア

第84エリア

第85エリア

第86エリア

第87エリア

第88エリア

第89エリア

第90エリア

第91エリア

第92エリア

第93エリア

第94エリア

第95エリア

第96エリア

第97エリア

第98エリア

第99エリア

第100エリア

ペデストリアンを快適に使えるよう、私たち都市計画実習防災班は自転車用迂回ルートへの誘導看板設置実験を行います。渋滞を避けて各エリアに向かうことで、遅刻やストレスを低減できる効果が期待できます。

案内を見かけたら、ぜひご利用ください。

チラシの配布

看板と同じ内容（迂回の意義、看板設置箇所、迂回ルート、...）。

【配布時間・箇所】

計3つの授業開始/終了時

チラシを配った授業のほか、
チラシを配っていない授業に
おいても意向調査を後で行う。
これら二群の違いを観測

ストレス社会で戦うあなたへ
～快適な自転車生活のために～

ベダストリアを利用者が快適に使えるよう、私たち都市計画都市防災課はエリア毎の誘導看板を設置する実験を行います。渋滞を避けて各エリアに向かうことで、通勤やストレスを減らせるはずです。文芸館前と松美池前交差点、平砂宿舎北側に設置します（要認参照）。

ベダ自転車渋滞緩和のための看板を各所に設置します！

第1・3エリア for Area 1 & 3 D1 自転車 平砂宿舎北	第3エリア for Area 3 D2 自転車 松美池前交差点	第2エリア for Area 2 D4 自転車 文芸館前
--	--	---------------------------------------

看板を見かけたら、ぜひ一度誘導されてみてください。交通量の多い時間帯と効果大です！

BEFORE

- ×ベデで渋滞...
- ×進まなくてイライラ...
- ×授業に遅刻...

AFTER

- 渋滞を回避！
- スムーズな進行！
- 授業に間に合う！

実はこの迂回路を導くだけであなたの人生には1年で15時間（約1ヶ月）の余裕が生まれます。お金で買えない時間を手にするのはいらないのではありません。

（※1ヶ月間の迂回路を導くことで、1ヶ月間の通勤・通学に約15時間の余裕が生まれます。）

オモテ

自転車用迂回路MAP

文化系サークル館前
松美池前交差点
平砂宿舎北

迂回路、早く着くってよ。

2017年度 社会工学類 都市計画実習 防災班

ウラ

迂回路看板設置によって、

実際に迂回する利用者が
増加するか 検証

狙い通りペデの自転車交
通量が減少するか 検証



自転車の交通量調査を実施

交通量調査

【調査日】

看板設置前: 5月31日(水)、6月2日(金)

看板設置後: 6月7日(水)、6月9日(金)

【調査時間】

全日それぞれ、8:10~18:30

【調査方法】

迂回路上の自転車交通量を5分ごとに記録する。

看板設置前後における交通量の変化を調査する。



8:20	20	10:20	801	12:20	1253	14:20	1684
8:25	81	10:25	844	12:25	1258	14:25	1691
8:30	204	10:30	849	12:30	1263	14:30	1695
8:35	313	10:35	855	12:35	1273	14:35	1699
8:40	406	10:40	860	12:40	1276	14:40	1706
8:45	436	10:45	867	12:45	1282	14:45	1708
8:50	457	10:50	872	12:50	1290	14:50	1715
8:55	464	10:55	881	12:55	1299	14:55	1723
9:00	478	11:00	886	13:00	1310	15:00	1743
9:05	496	11:05	892	13:05	1335	15:05	1765
9:10	508	11:10	898	13:10	1353	15:10	1777
9:15	520	11:15	909	13:15	1362	15:15	1782
9:20	535	11:20		13:20		15:20	

【調査箇所】

班員で協議し、5か所設定。

A 大学公園
バス停

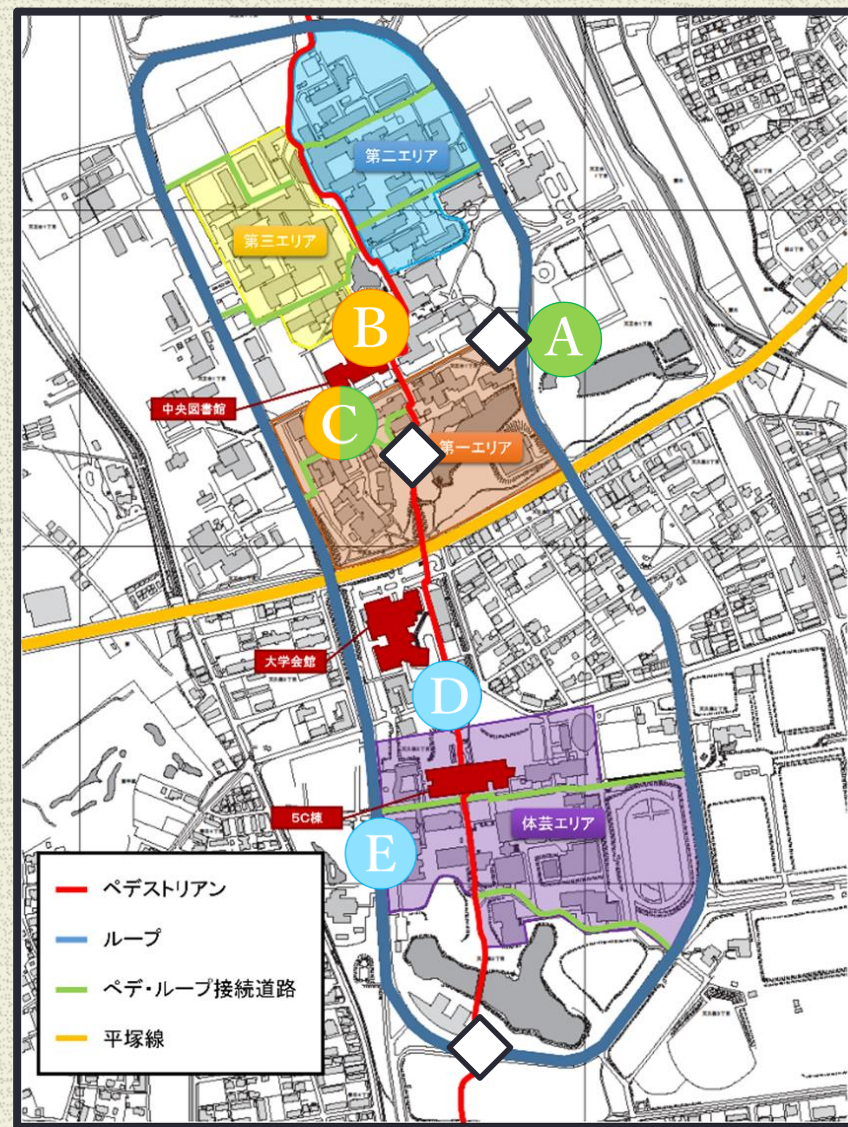
D 保健管理
センター前

B 中央図書館

E 筑波大学西
バス停

C 総B棟南

◇ : 迂回看板設置箇所



【調査箇所①】D1

D 保健管理センター前

E バス停筑波大学西

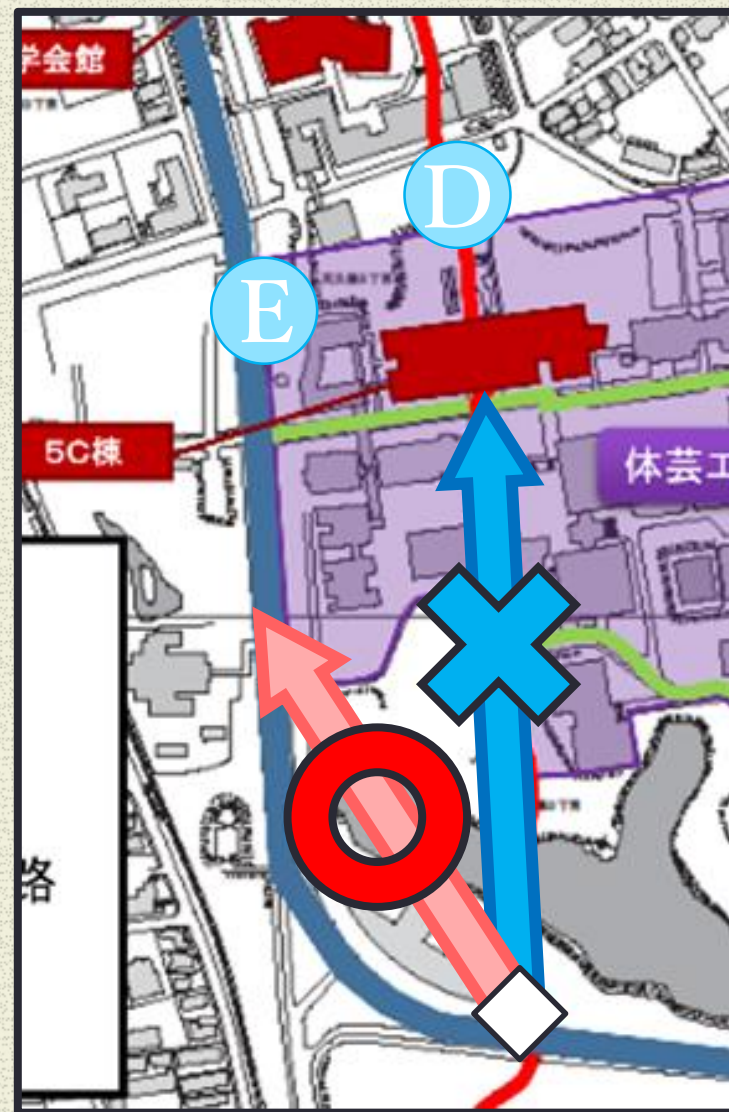
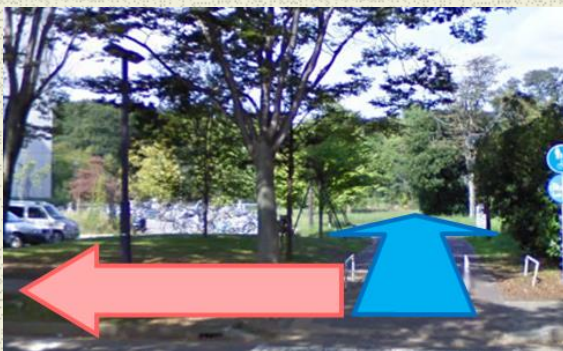
◇: 迂回看板

看板設置前後における、

既存ルート(ペデに流れるルート)

新規ルート(ペデを避けるルート)

の交通量推移を観察。



【調査箇所②】

D2

B

中央図書館

C

総B棟南

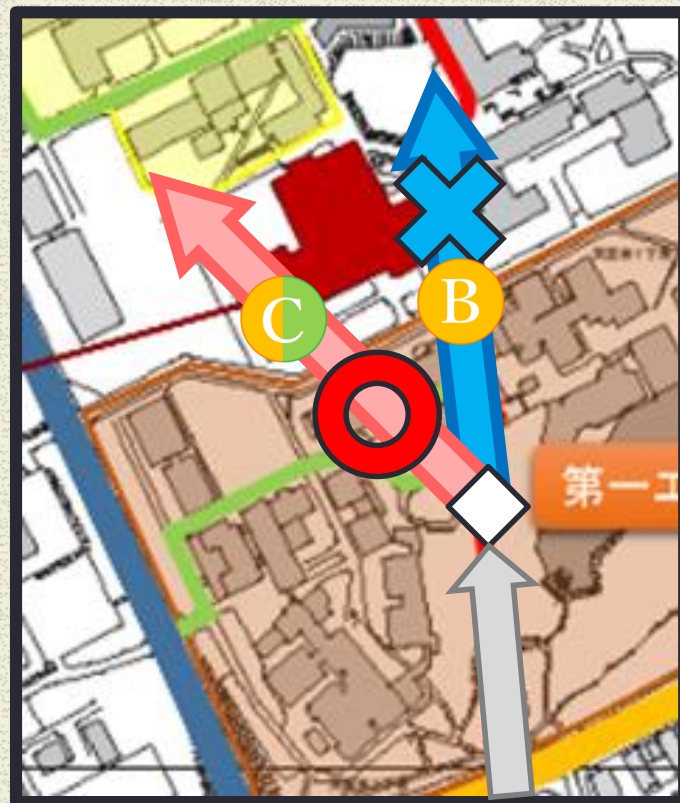
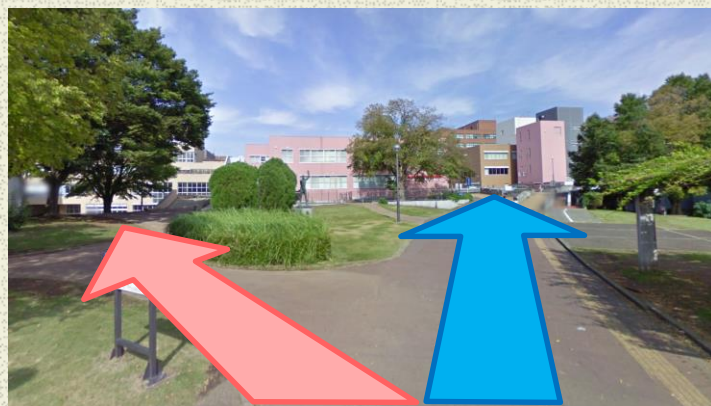
◇: 迂回看板

看板設置前後における、

既存ルート(ペデに流れるルート)

新規ルート(ペデを避けるルート)

の交通量推移を観察。



【調査箇所③】 D3,D4

A バス停大学公園

C 総B棟南

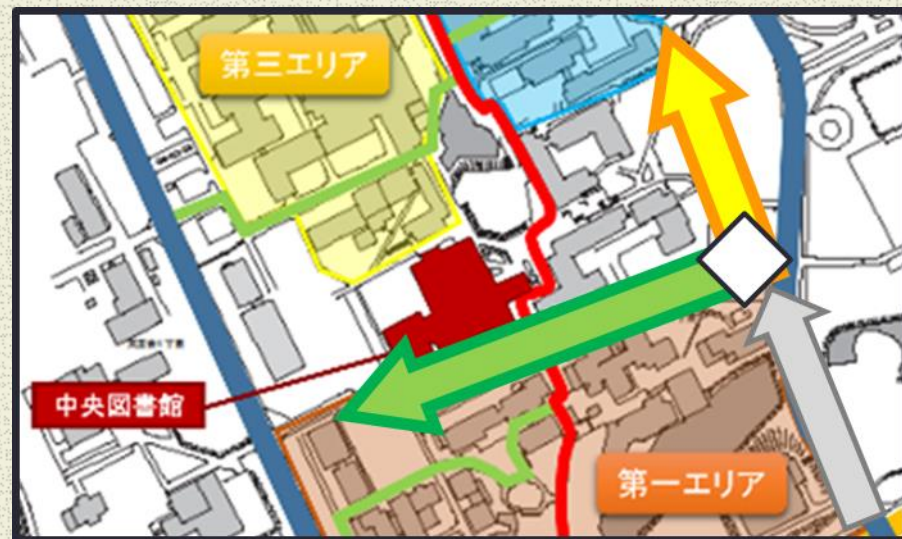
◇: 迂回看板

看板設置前後における、

2学方面ルート

1学、3学方面ルート

の交通量推移を観察。



◇: 迂回看板設置箇所



仮説1 迂回路を周知することにより、迂回路の利用率が
増加し、ペDESTリアンデッキの交通量が減少する



交通量調査による仮説検証

論点

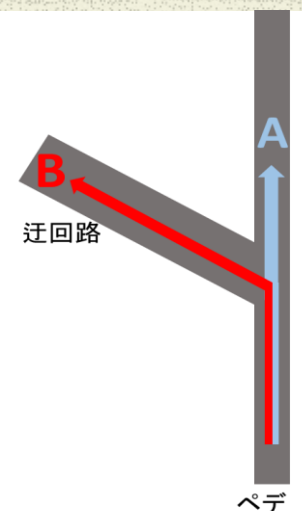
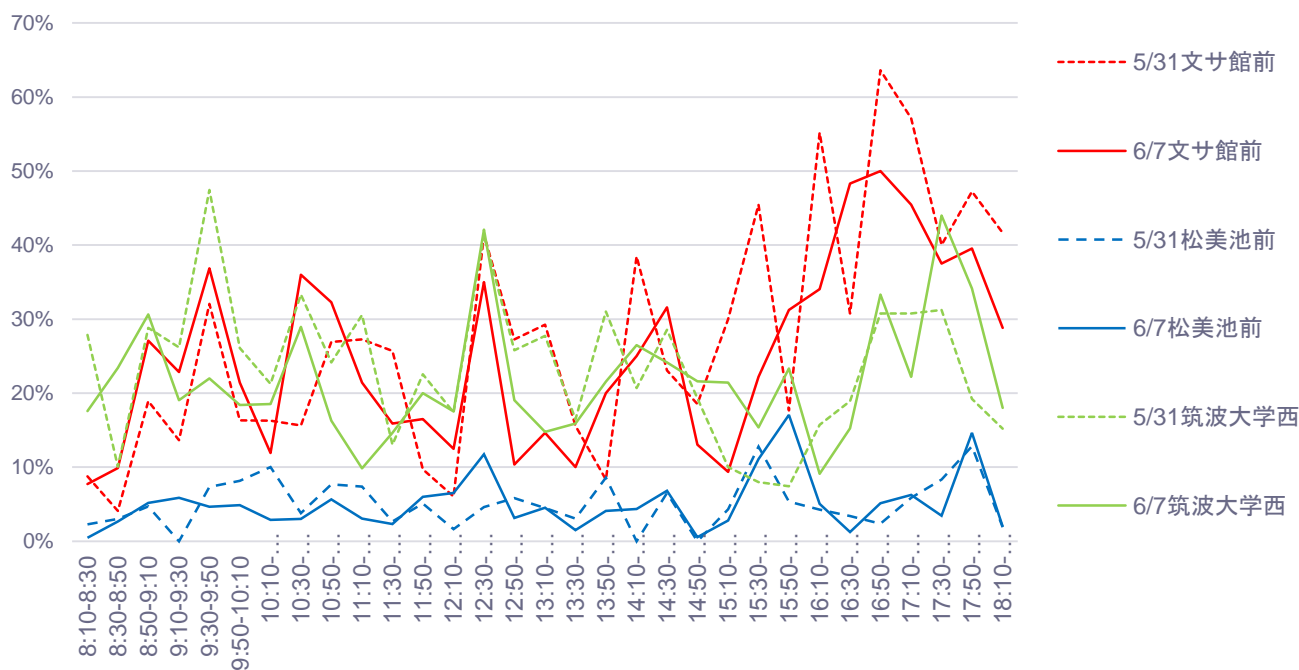
迂回路を通行する台数の割合は
看板設置前後で変動したのか？

交通量調査結果の分析

確認

迂回路として ①大学西ループ(筑波大学西)
②大気像左の下り坂(松美池前)
③文化系サークル棟前(文サ館前) を設定

時系列で見た各迂回路への迂回率(水曜日)



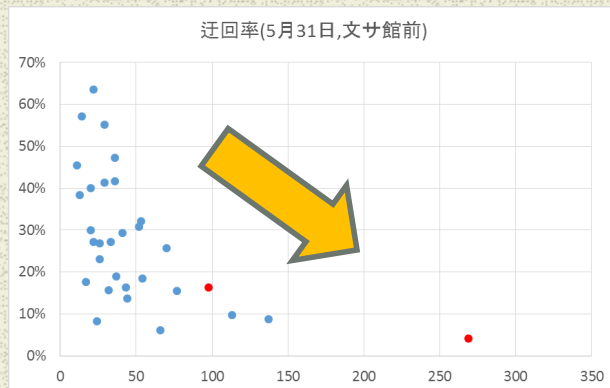
☆迂回率とは
ペデを通過した自転車の台数をA(台)、
迂回路を利用した自転車の台数をB(台)
としたとき
$$\text{迂回率} = \frac{B}{A+B} (\%)$$
とする。

看板設置前後の迂回率が観測点によってまちまち
→交通量と迂回率の関係に着目

混雑度と迂回率の相関関係を測定(グラフは文サ館前)

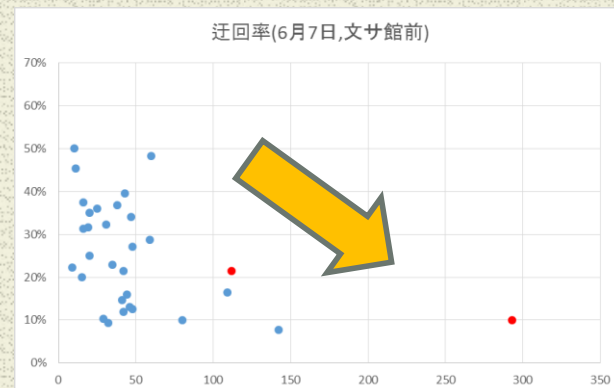
水曜日
設置前

$r = -0.53$



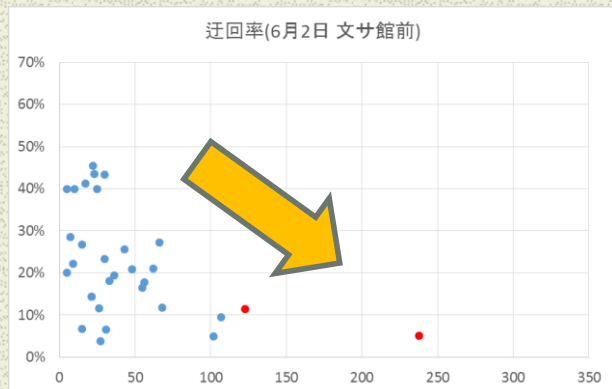
水曜日
設置後

$r = -0.42$



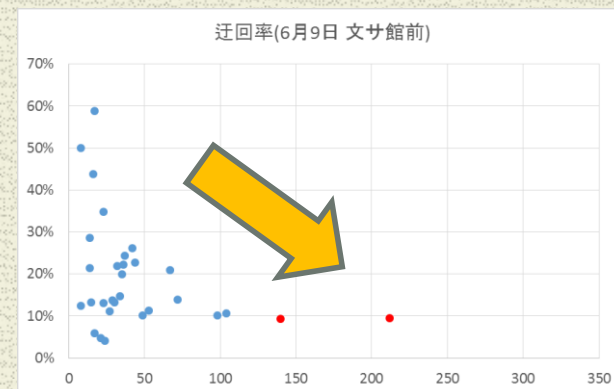
金曜日
設置前

$r = -0.46$



金曜日
設置後

$r = -0.34$



混雑度と迂回率には**負の相関**
⇒交通量が多い程、迂回をしない傾向

混雑時(特に午前中の授業間移動)ほど
迂回率が低い傾向にある

混雑時には、経路選択を使い分けない運転者は、
迂回看板に従う余裕がなく、駐輪場がより近い
ペデを使う傾向にある可能性

混雑時に迂回路を使用する習慣を
身に着けさせる必要がある

交通量調査では迂回看板の効果しか測れていない

→ 意向調査が必要であると判断

【目的】

- ・協力行動が実際にあったかを検証
- ・チラシ・ポスターの効果をはかる

チラシを配った講義群とチラシを配っていない講義群に分かれているので、それぞれの群に応じたアンケート用紙を配布する

《質問内容》

個人の事故・渋滞経験
自動車運転免許保持の有無

看板・ポスターを見て渋滞回避したか

看板を見て事故を注意したか

チラシを見て渋滞回避したか(チラシ配布群のみ)

【実施概要】

講義	日時	回収数	チラシ配布の有無
計量時系列分析	6月13日(火)	36部	有(5月30日)
ソフトウェア工学	6月13日(火)	41部	
先端文化学概論	6月13日(火)	19部	有(5月30日)
植物育種学	6月16日(金)	23部	
社会地理学C	6月9日(金)	50部	有(6月2日)
開発経済学	6月13日(火)	19部	

仮説1 迂回路を周知することにより、迂回路の利用率が
増加し、ペDESTリアンデッキの交通量が減少する



アンケート調査による仮説検証

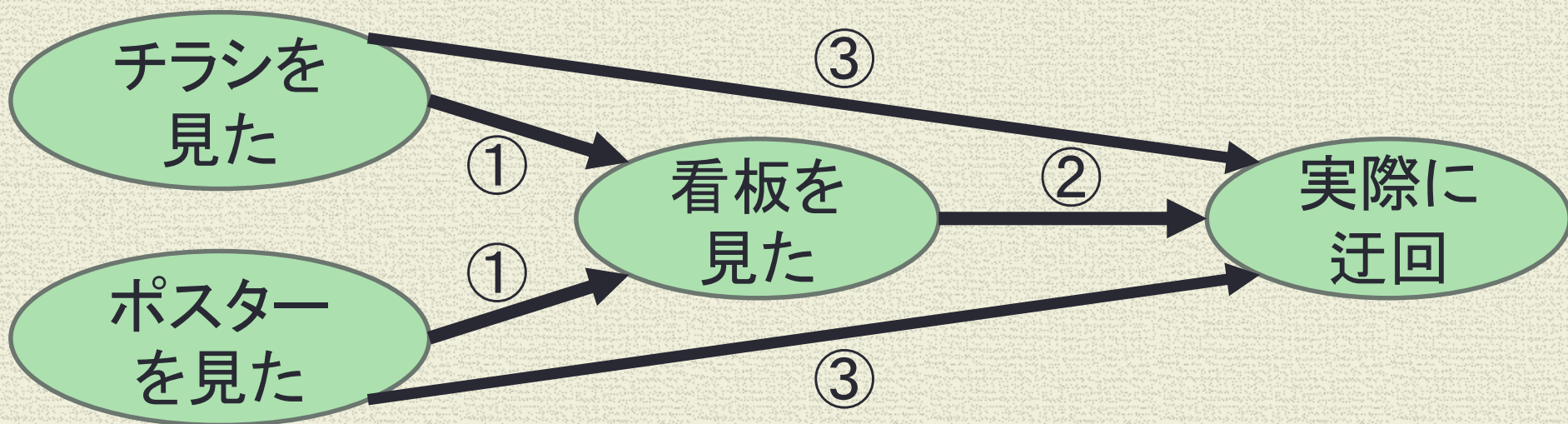
論点

- ・チラシやポスターを見た人ほど看板を見たのか？
- ・それは「迂回への協力意思」によるものなのか？
- ・看板を見た運転者は実際に迂回をしているのか？

クロス集計

下記について、分析

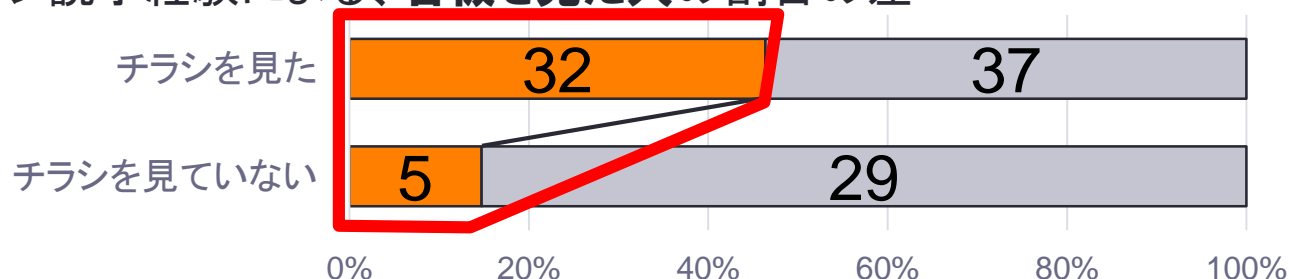
- ① チラシやポスターを見ることによって、看板を見るかどうかに影響があるか
- ② 看板を見ることによって、実際の迂回行動に影響があるか
- ③ チラシやポスターを見ることによって、実際の迂回行動に影響があるか



アンケート調査結果の分析

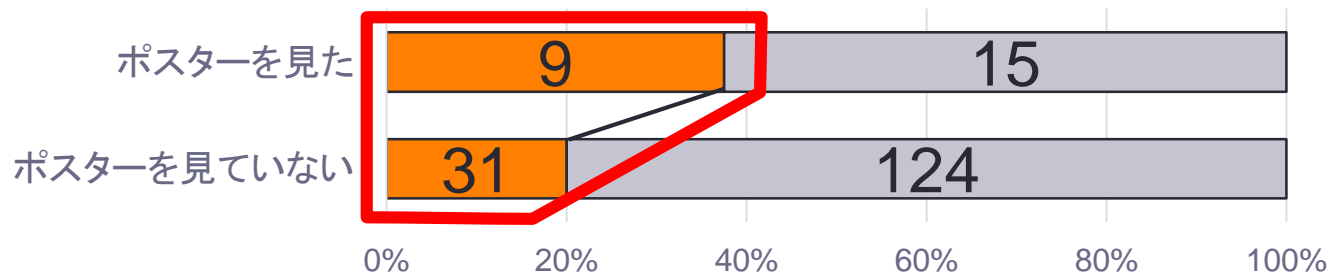
■ 看板を見た ■ 看板を見ていない

①チラシ読了経験による、看板を見た人の割合の差



$\chi^2=9.925$
 $p=0.002^{**}$

②ポスター読了経験による看板を見た人の割合の差

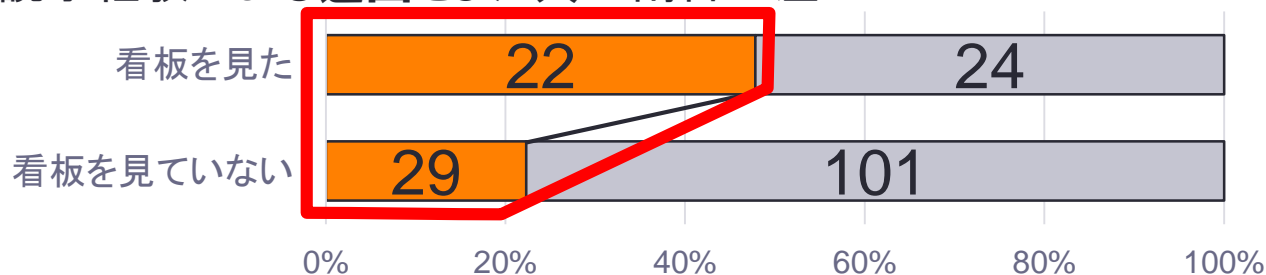


$\chi^2=19.659$
 $p=0.000^{**}$

チラシ・ポスターを見た人ほど
看板を見た割合が高い

■ 迂回をした ■ 迂回をしていない

③看板読了経験による迂回をした人の割合の差

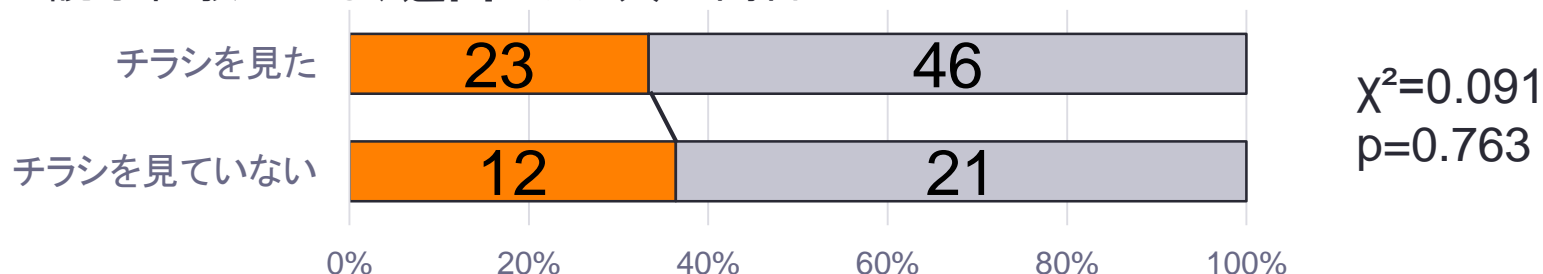


$\chi^2=10.751$
 $p=0.001^{**}$

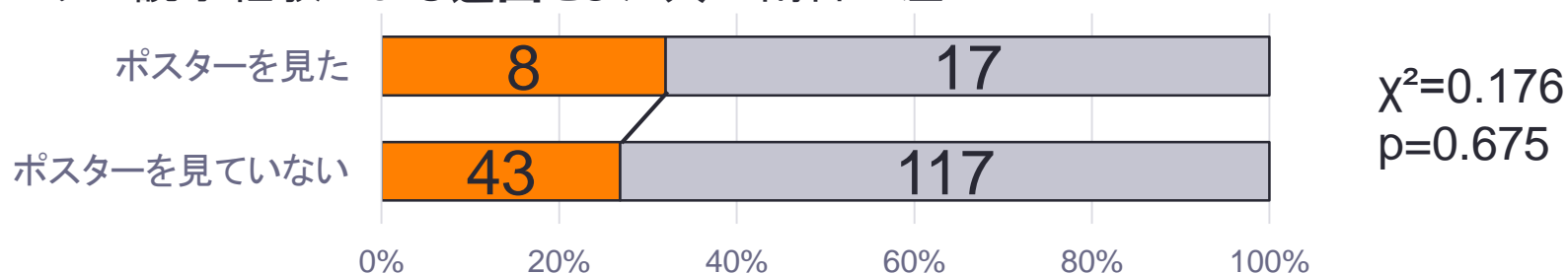
看板を見た人ほど迂回した割合が高い
⇒看板は迂回率アップに効果あり

■ 看板を見た ■ 看板を見ていない

④ チラシ読了経験による、迂回をした人の割合の差



⑤ ポスター読了経験による迂回をした人の割合の差

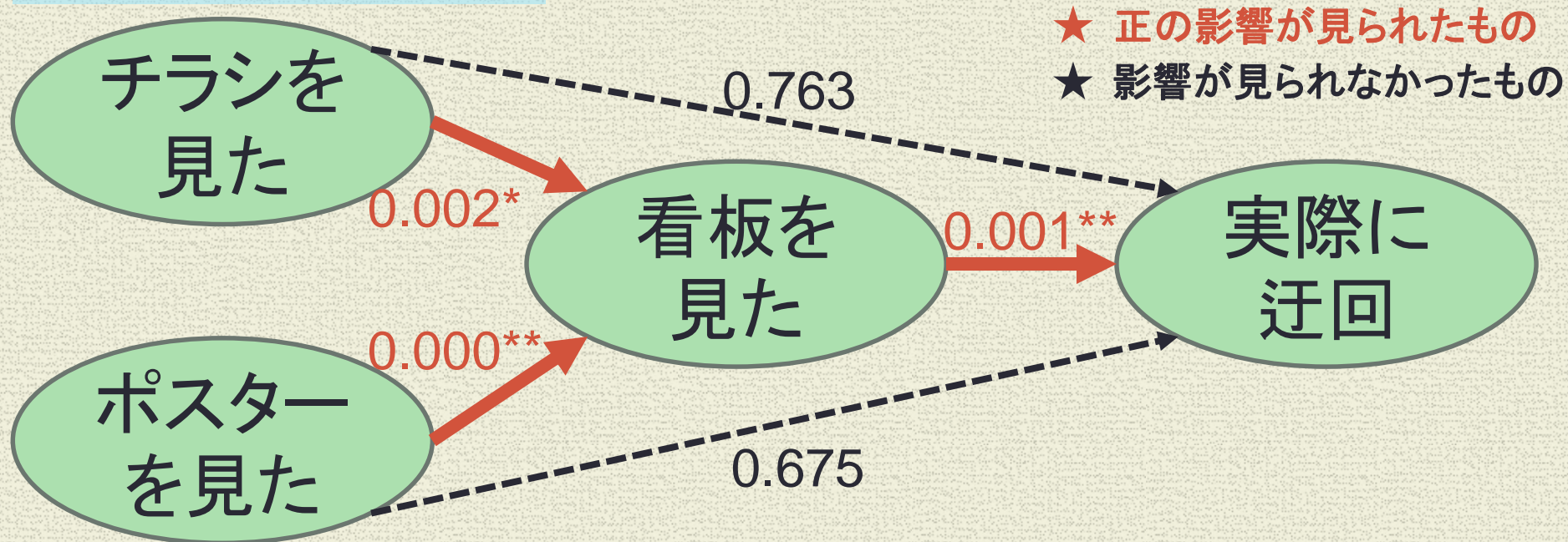


チラシ・ビラを見た人ほど
迂回をした割合が高いとはいえない

アンケート調査結果の分析

クロス集計

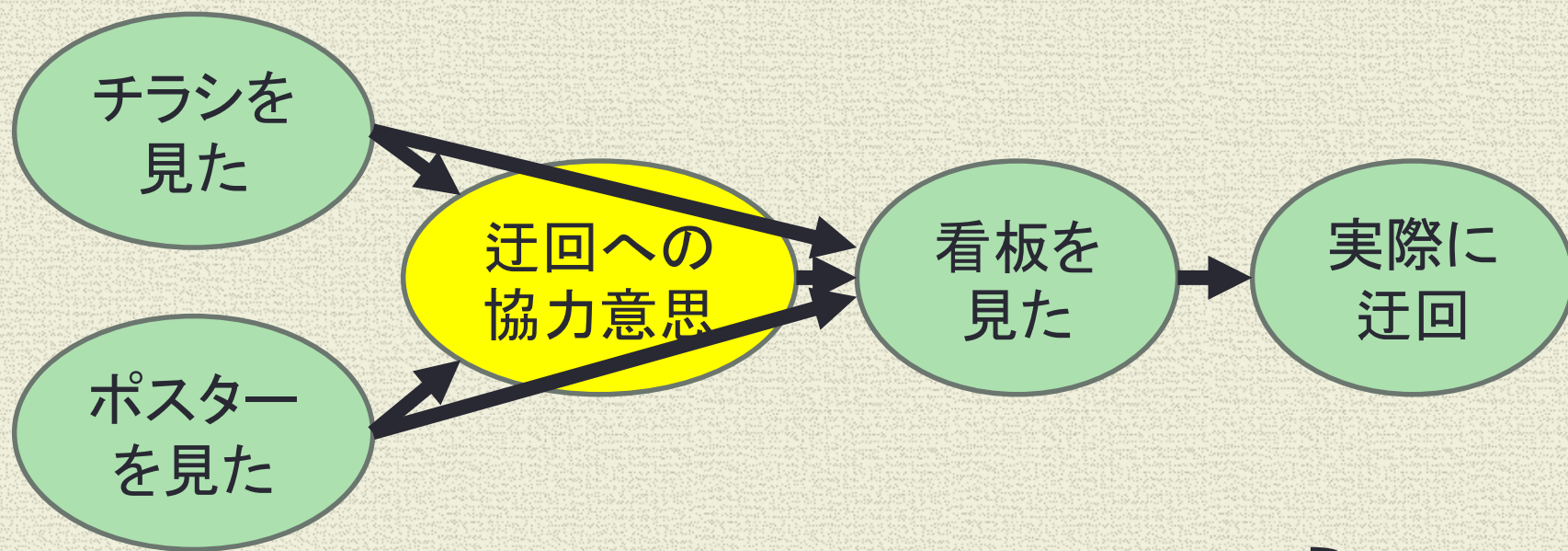
結果(数値:有意確率)



- ★ ポスターやチラシの読了有無によって、看板を見たかどうかに差が生じる
- ★ 看板の読了有無によって、実際に迂回したかどうかに差が生じる
- ★ ポスターとチラシの読了有無によって、実際に迂回したかどうかに差が生じるとは言えない



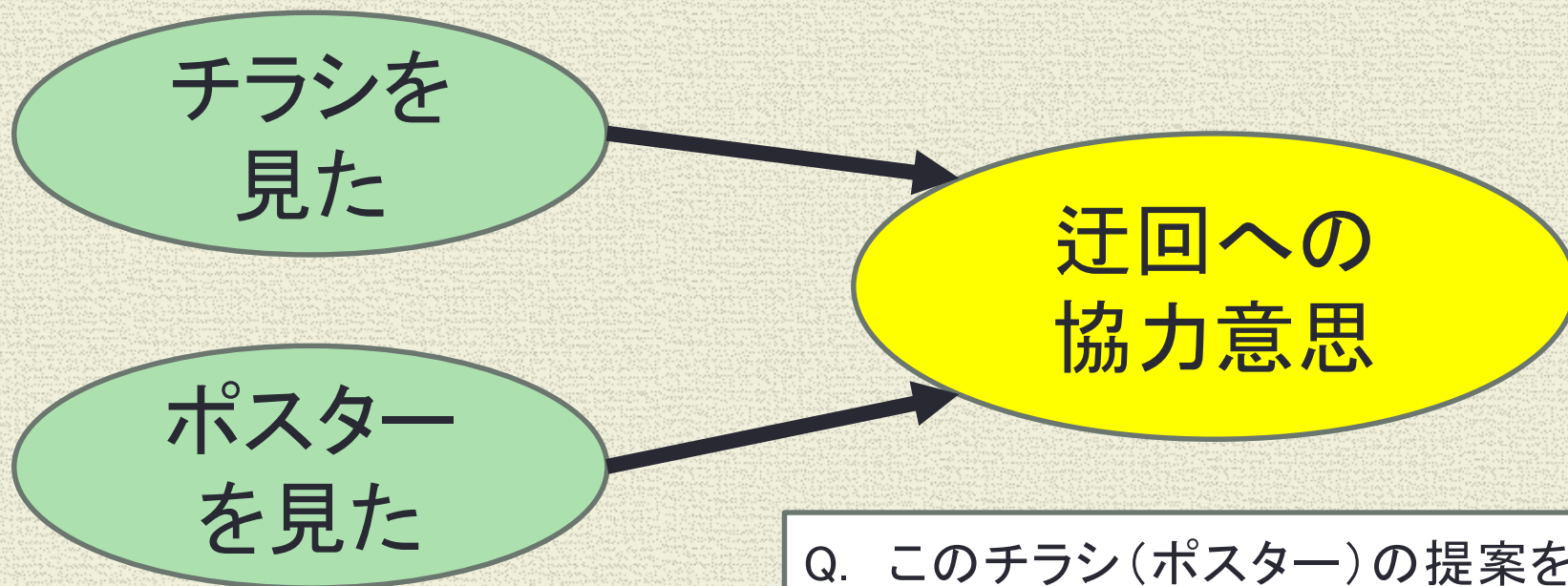
ポスターやチラシの読了有無によって、看板を見たかどうかに差が生じる ➡ ポスター・チラシと看板を媒介する心理が存在？



- チラシやポスターを見るかどうか、迂回への協力意思に影響があるか
- 迂回意思の有無によって、看板を見るかどうかに影響があるか

を分析

アンケート調査結果の分析



Q. あなたは今年の6月5日以降、
図2(3)のチラシ(ポスター)を見ましたか。

1. 見て、内容も覚えている
2. 見て、少しは覚えている
3. 見たが、内容は覚えていない
4. 見ていない

Q. このチラシ(ポスター)の提案を見て迂回路を利用しようと思いましたか。

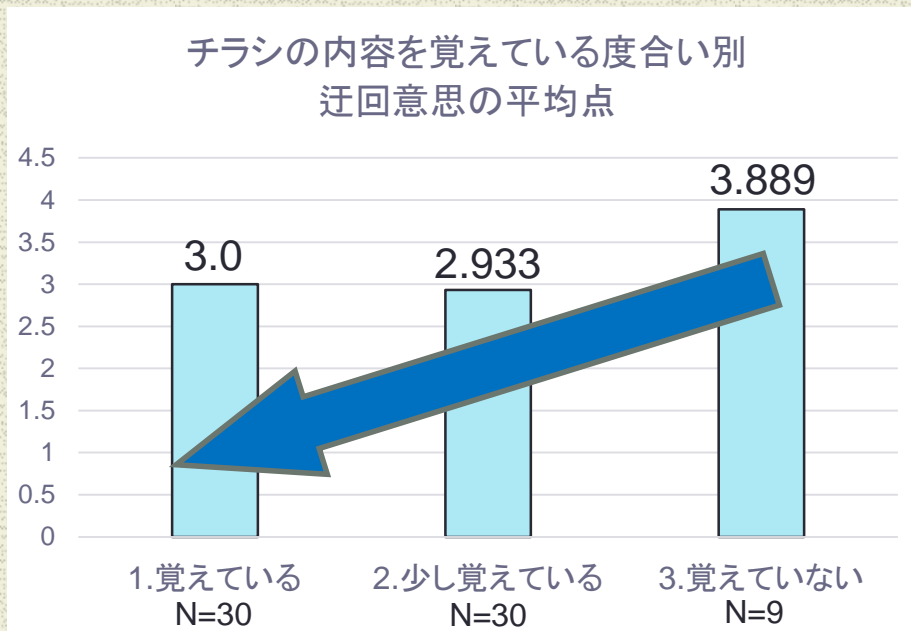
1. とてもそう思った
2. まあまあそう思った
3. 少しそう思った
4. あまりそう思わなかった
5. 全くそう思わなかった

⇒迂回する意思の強さを得点化

アンケート調査結果の分析

チラシの内容
を覚えている

迂回への
協力意思



$$F(2,66)=2.500$$
$$p=0.090$$

各群間の平均点が等しい有意確率

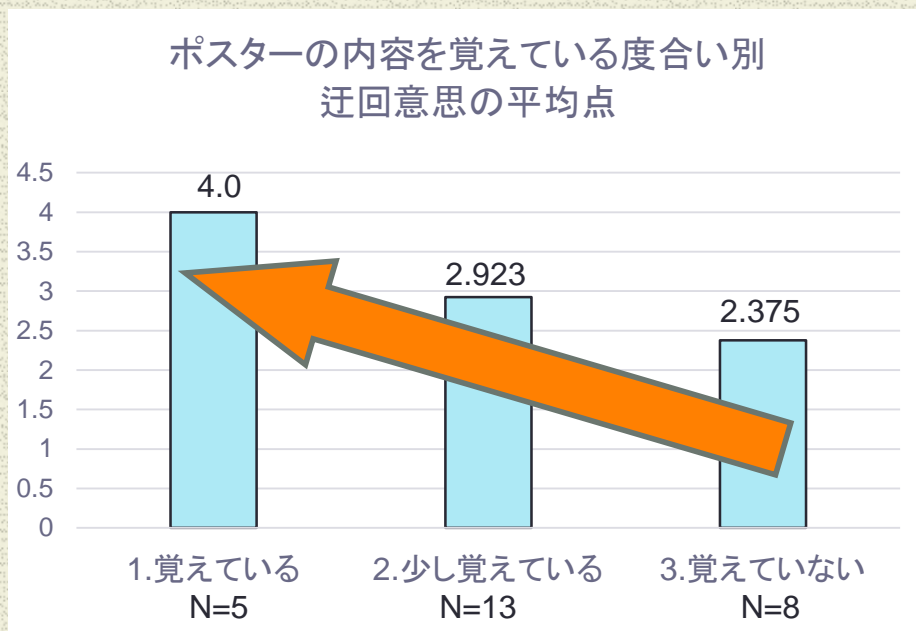
1群と2群	.973
1群と3群	.116
2群と3群	.084

内容を覚えていない人ほど迂回に協力的
⇒チラシによる迂回意思向上は期待できない

アンケート調査結果の分析

ポスターの内容
を覚えている

迂回への
協力意思



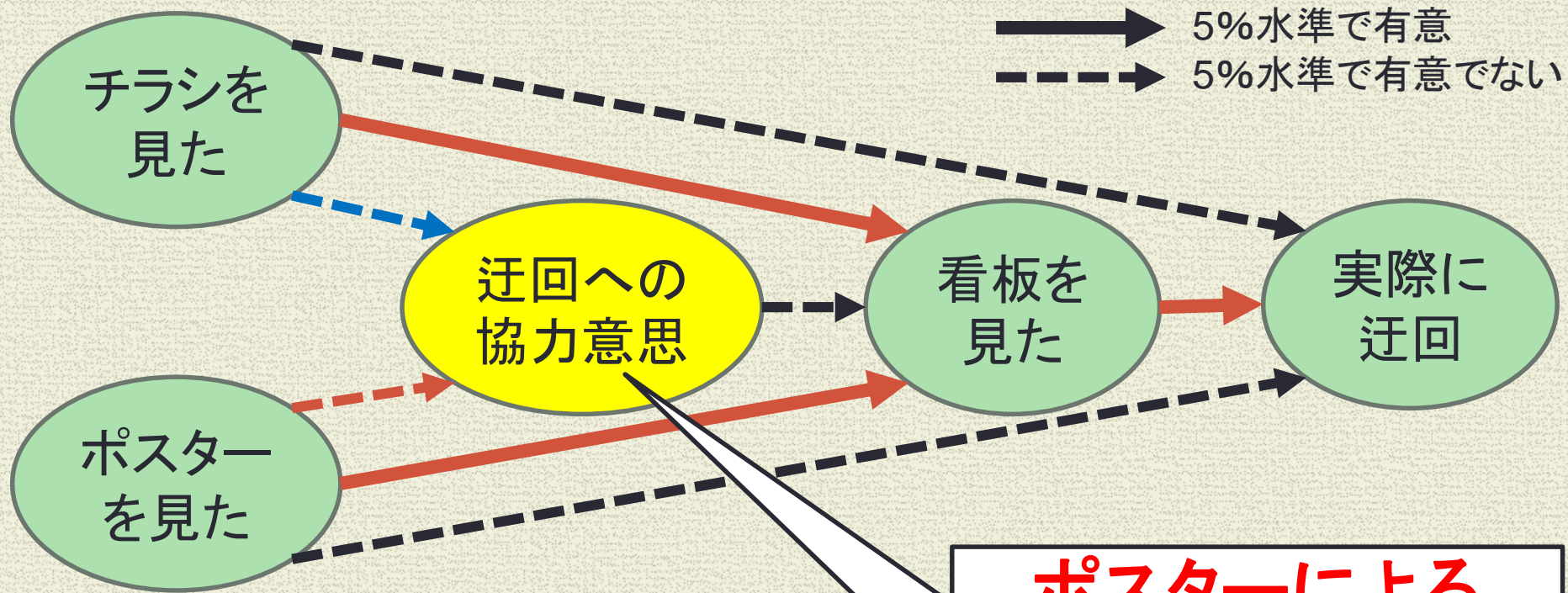
$$F(2,23)=3.048$$
$$p=0.067$$

各群間の平均点が等しい有意確率

1群と2群	.202
1群と3群	.054
2群と3群	.551

内容を覚えている人ほど迂回に協力的
⇒ポスターによって迂回意思が啓発される

アンケート調査結果の分析



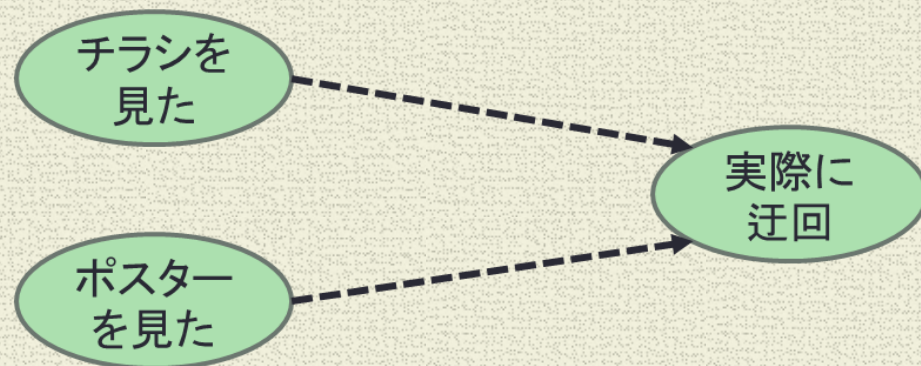
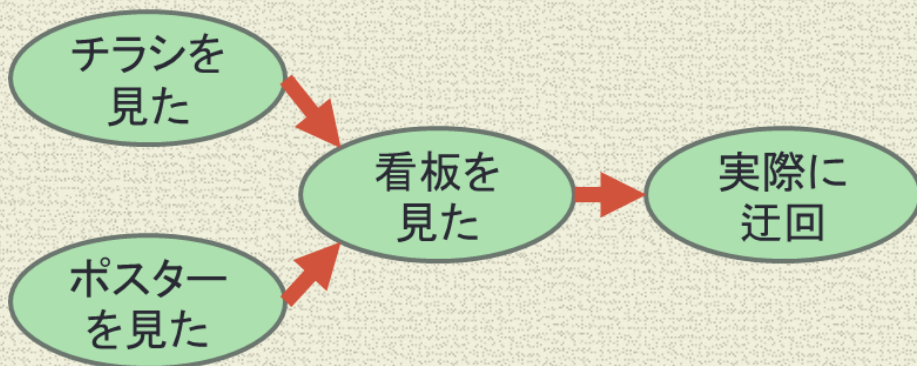
- ★ 正の影響が見られたもの
- ★ 負の影響が見られたもの
- ★ 影響が見られなかったもの

ポスターによる
情報収集が
協力意思に
正の関係

ポスター・チラシは看板を見ることに効果が高く、
看板を見ることは実際の迂回に効果が高い

ポスター・チラシは迂回に
直接的な効果が見られるとは限らない

ポスター・チラシを見てから迂回に至る過程で、**看板の読了**
が経由される必要がある



➡ 正の影響が見られたもの

■ ■ ▶ 影響が見られなかったもの

アンケート調査結果の考察

チラシの配布 迂回意思向上が**見られなかった**

ポスターの掲示 迂回意思向上が**見られた**

上記の対照的な調査結果について、
次のような対比構造から相違が生じたのではないか

チラシ配布による情報取得は受動的

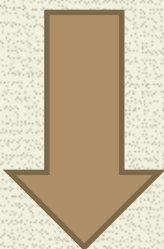


ポスターによる情報取得は能動的

	チラシ	ポスター
迂回意思 の向上	×	○
情報取得 の形態	受動的	能動的

**能動的に情報取得する
利用者が迂回に協力的
なのではないか**

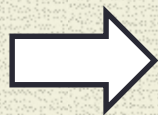
仮説2 事故多発箇所で注意喚起を行うことにより、
事故の危険性を意識する利用者が増加する。



アンケート調査による仮説検証

◎アンケート調査結果の分析

看板を



見た



以前よりも注意するようになったかどうか質問



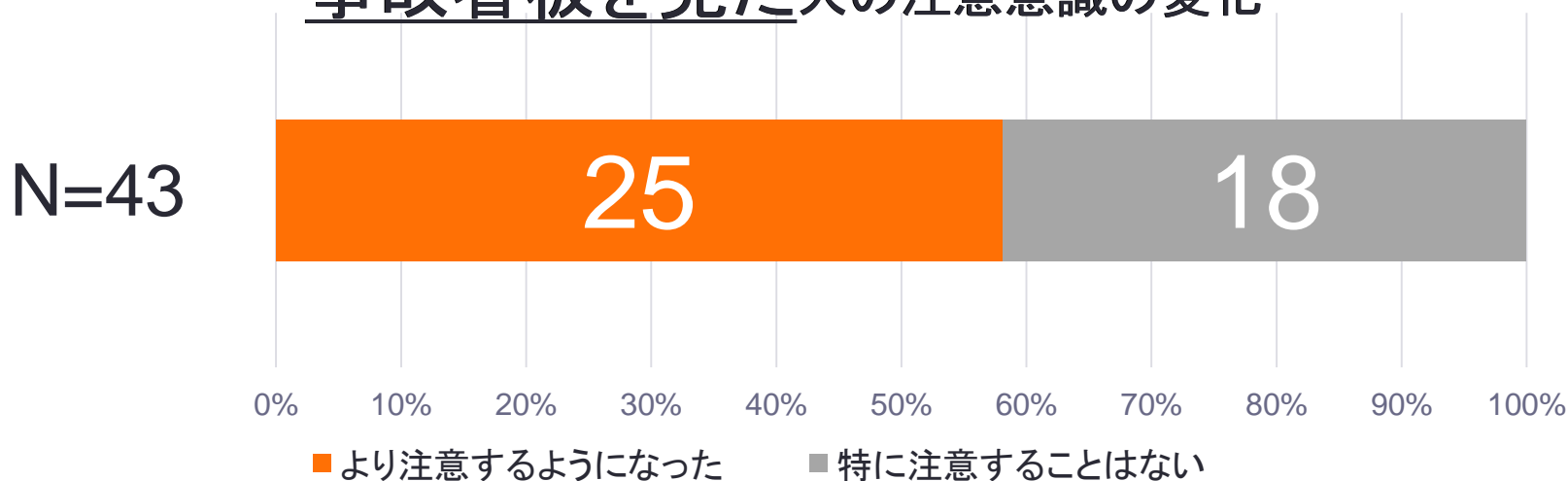
見ていない



看板のデザインを見てもらい、それで注意行動をするようになるか質問

仮説2の検証

事故看板を見た人の注意意識の変化

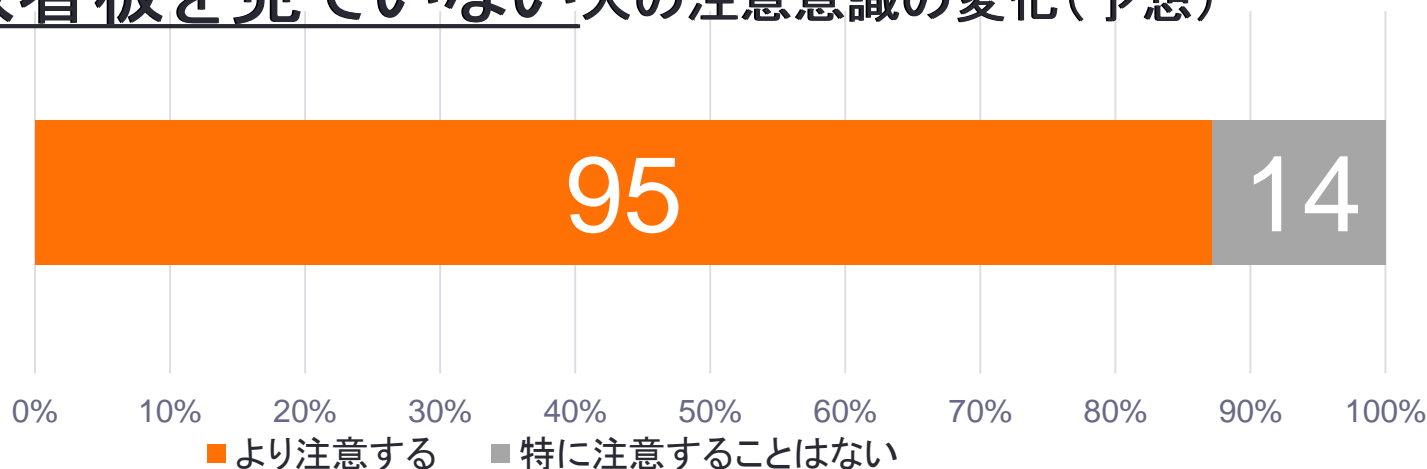


事故注意看板は事故を未然に防止する効果
があると考えられる

仮説2の検証

事故看板を見ていない人の注意意識の変化(予想)

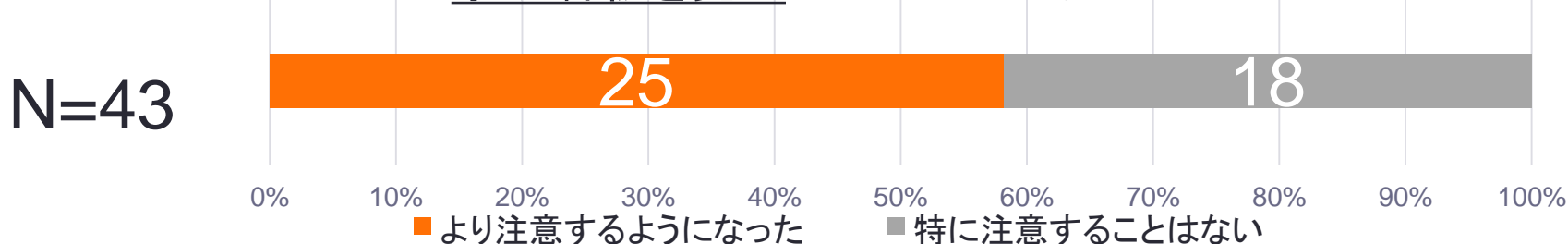
N=109



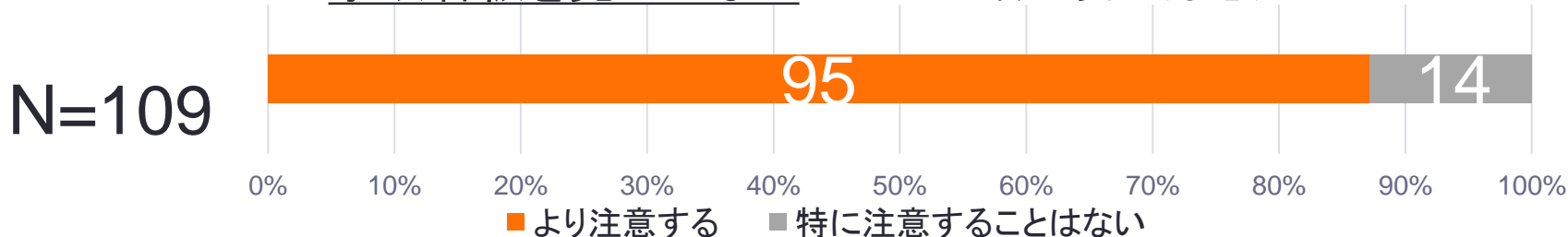
デザインの面では、今回の看板は**事故の注意喚起を促す効果がある**と考えられる

仮説2

事故看板を見た人の注意意識の変化



事故看板を見ていない人の注意意識の変化(予想)



事故看板→注意意識の向上

交通量調査

- ・混雑時ほど迂回率が低い傾向にある

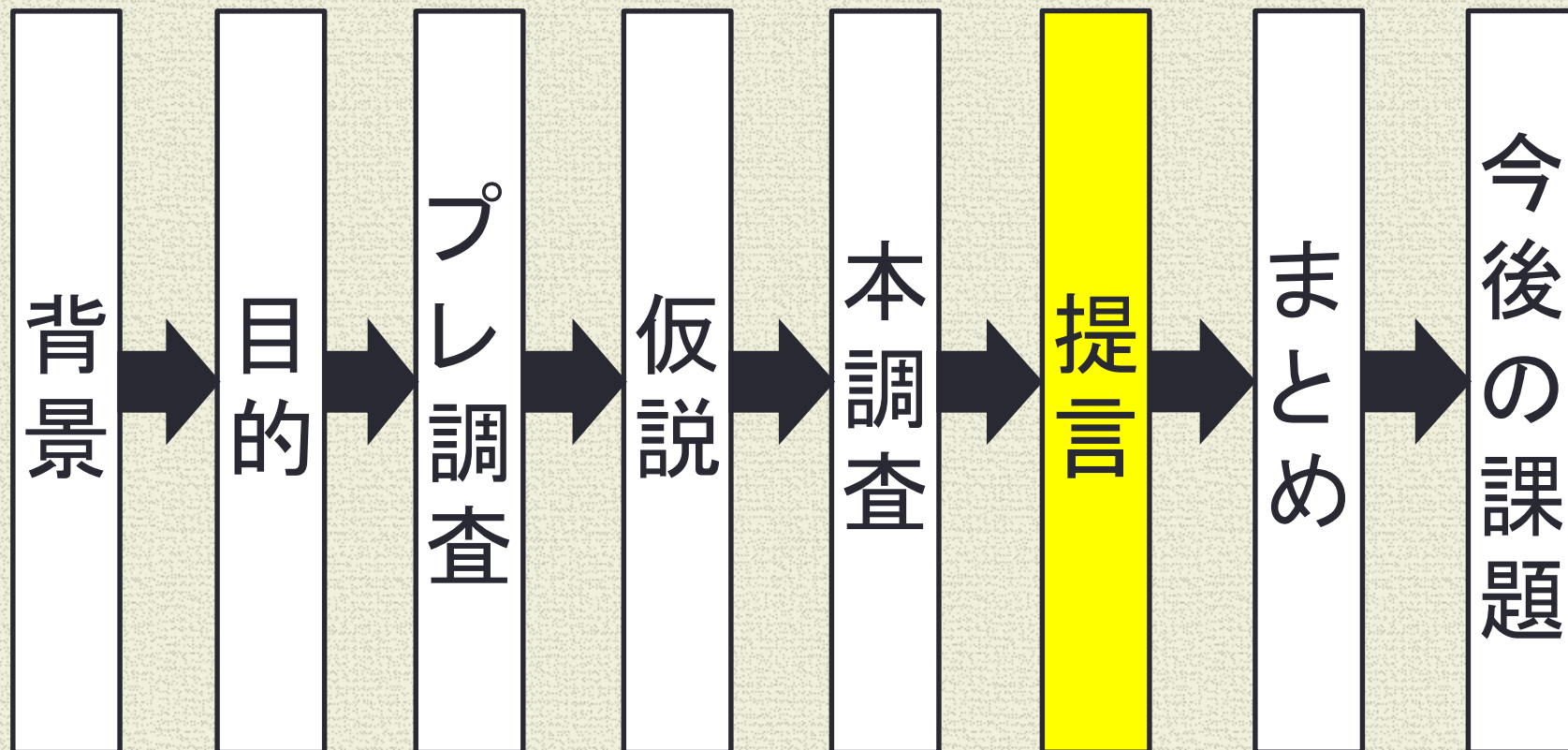
→ ペデを使うことが習慣化されているため、迂回路を使用する習慣づけが必要

アンケート調査

- ・ 迂回看板は、実際の迂回行動に必要である
- ・ 能動的にしか情報を得られない媒体は協力意思に影響がある
- ・ 事故看板は、注意意識の向上に正の影響をもたらす

迂回行動を促すには、迂回看板の設置が必要

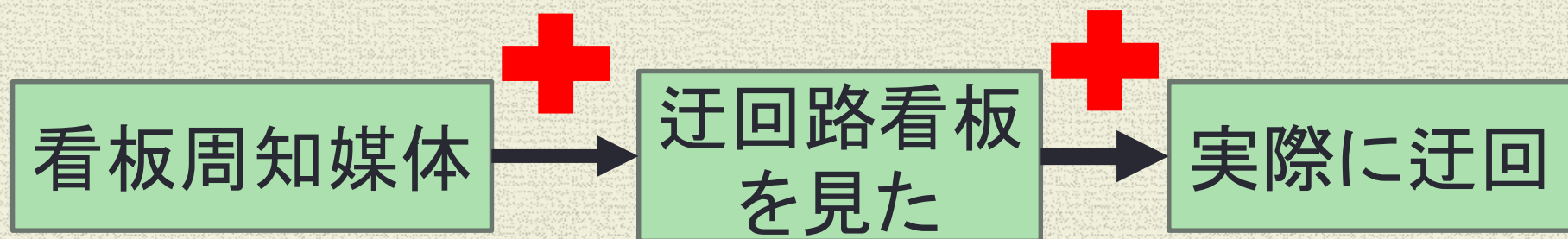
→ また、能動的にしか情報を得られない媒体の構築が必要
注意意識の向上を促すには、事故看板の設置が効果的



今回の調査より...



⇒ 事故注意意識の向上を促すには、
事故看板を設置することが必要



⇒ 実際の迂回を促すには、迂回路看板を設置することが必要

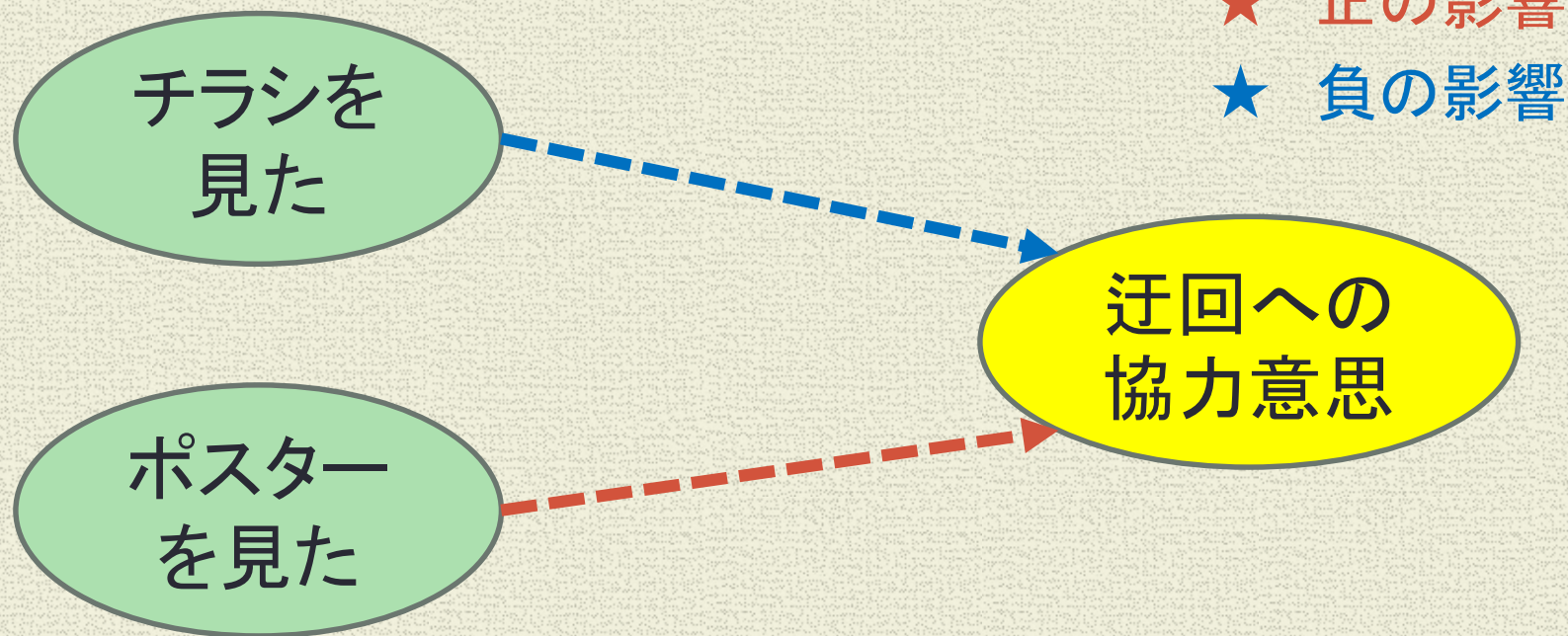
看板の拡大



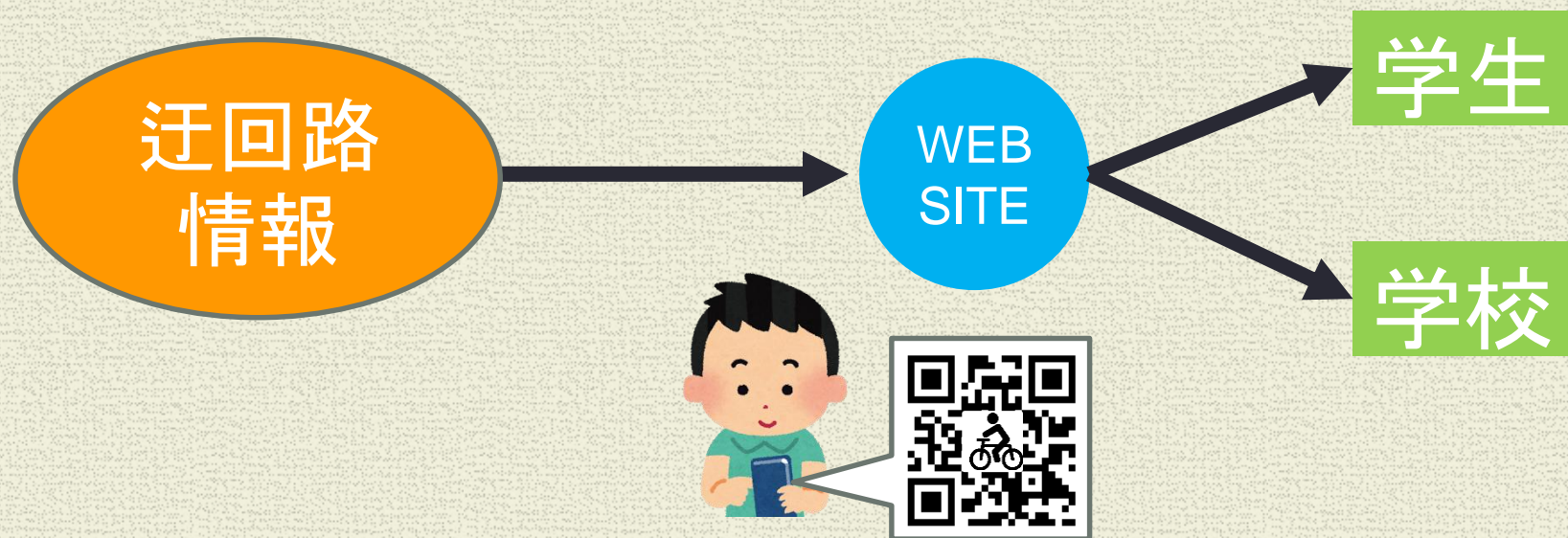
(例) アルミ複合看板
横1800 x 縦900 x 足900
製作費:4万円前後

より目に付きやすい看板 ⇒ 看板の直接効果の向上

今回の調査より...

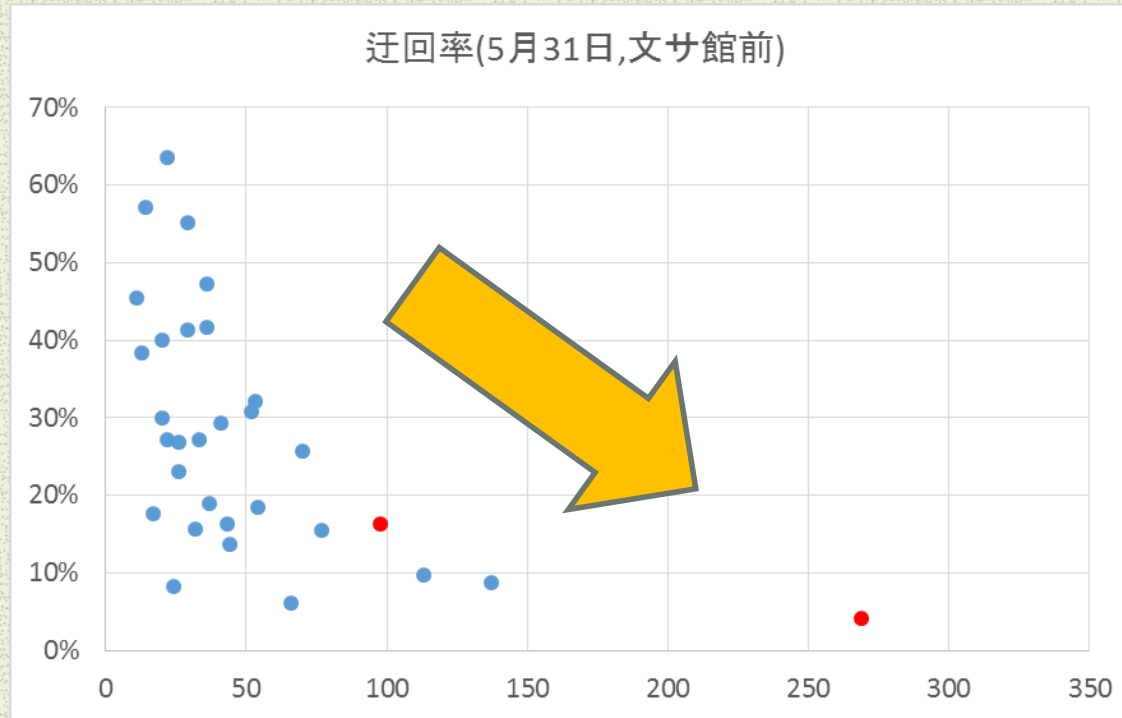


⇒協力意思に関係のあるものとして、
能動的にしか情報を得られないような
システムの構築が必要



- ・学生に迂回路を能動的に発見させる機会を作る
- ・大学側にも迂回路情報が得られる媒体に

今回の調査より...



混雑する時間帯ほど迂回率が低い

⇒ 迂回路に比べて確実性の高いペデを使うことが習慣化しており、迂回路を使用する習慣づけが必要

提言3「歩行者天国」

- ・CEGLOC～平塚橋までを自転車走行の禁止
- ・休み時間のみ



自転車走行禁止
(押し自転車は除く)
休み時間の間
休日除く

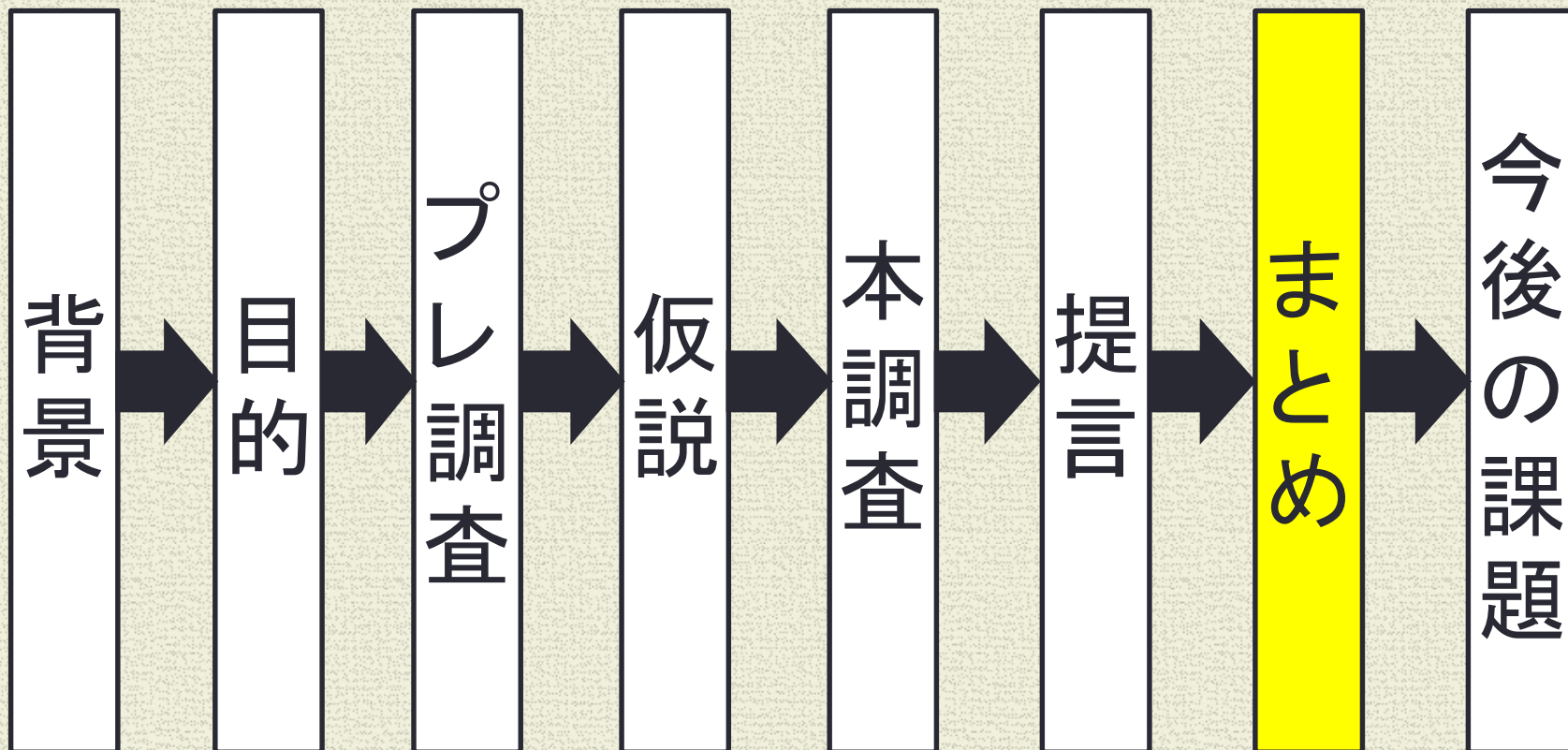


⇒ 迂回路を利用するきっかけになる

提言4「フレセミでの迂回路体験」

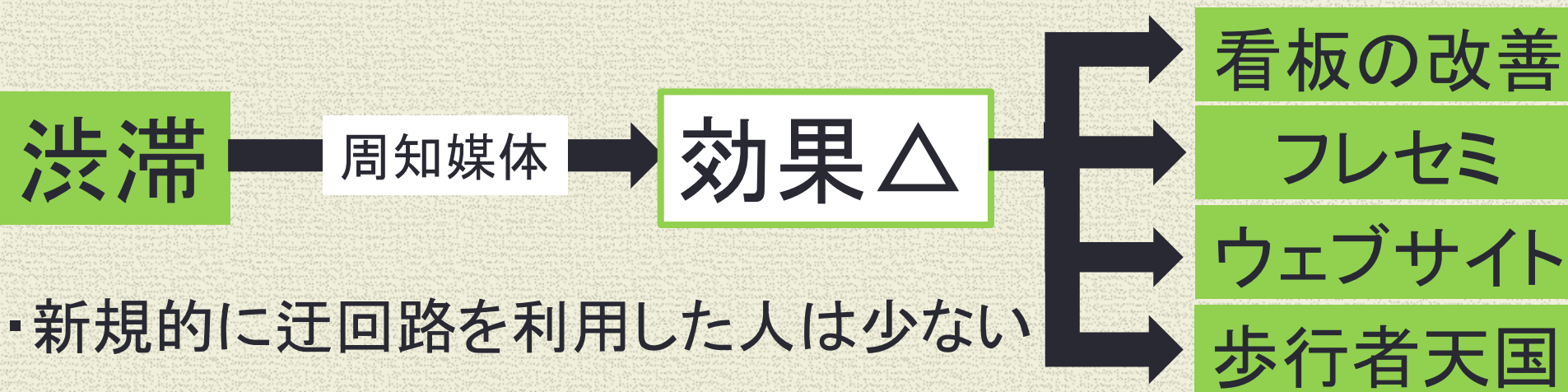


- ・早い段階で迂回路を認知させ、
迂回路の利用率を上げる
- ・学内全生徒が受講する授業なので、
確実に迂回路を周知できる

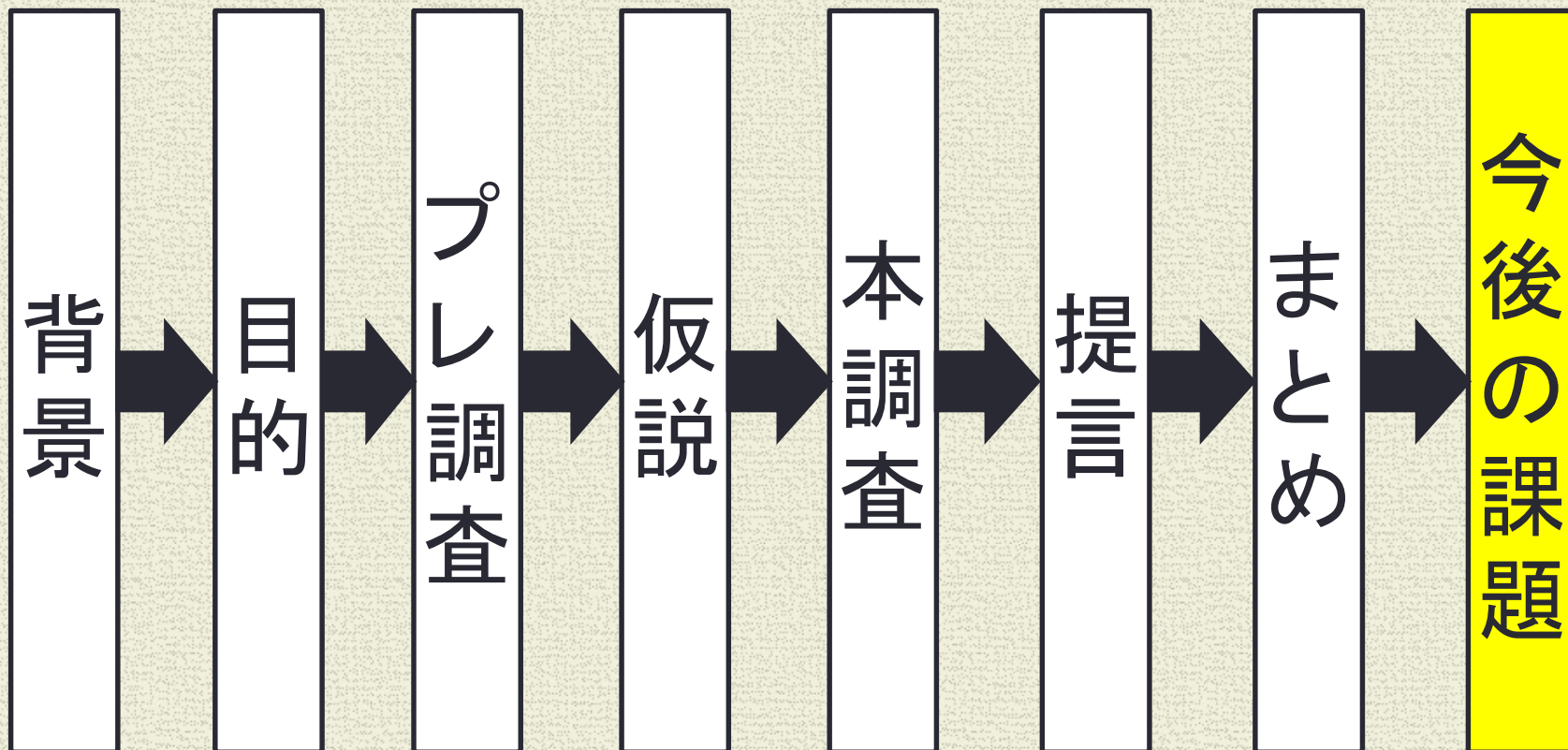




- ・看板を見た中で、半分近くが気を付けるよう行動した
- ・見ていない人も注意行動に移すと予想できる



- ・新規的に迂回路を利用した人は少ない
- ・周知媒体を見た人ほど迂回路を利用する傾向
- ・ルート選択は習慣に依存する



長期的な周知効果の検証

長期的に調査を行った場合、迂回路の利用率や、事故の注意意識にどのような変化が生じるか

調査の質の向上

交通量調査の改善、アンケート母数を多くする、事故看板の効果をより深く検証

迂回路の混み度合いの調査

実際にどれぐらいの人を迂回路に流せるか、また、流した場合迂回路及びペデはどのような状態になるかを調査する必要がある。

調査協力

- ・筑波大学学生生活課 菊池文武様
- ・筑波大学施設部 鷺森 航太様

アンケート調査協力講義一覧

- ・社会学類 開発経済学(箕輪 真理先生)
- ・社会工学類 計量時系列分析(三崎 広海先生)
- ・比較文化学類 先端文化学概論(濱田 真先生)
- ・情報科学類 ソフトウェア工学(早瀬 康裕先生)
- ・比較文化学類 社会地理学C(森本 健弘先生)
- ・生物資源学類 植物育種学(大澤 良先生)

プロフェッショナル
チャリ通の流儀



終

発表・担当

ご静聴ありがとうございました

防災班